

## 第 2 章

### 主 要 施 策 の 概 要

# 1 子どもが元気に育ち、豊かな人間力を育む環境づくり

## 1 健康・発育の支援

### 1 園 保育所等訪問支援事業【計画】（福祉費）

障害者施設課 3.1百万円

子ども発達センター（児童発達支援センター）の職員が保育所や幼稚園を訪問し、発達に課題がある児童の療育を行うとともに、当該施設の職員と連携して、保育を実施する体制を整備することにより、発達に課題がある児童への支援につなげました。

### 2 園 産後ケア体制の整備【計画】【拡大】（福祉費）

青戸保健センター・子ども家庭支援課 4.1百万円

産後の健康管理や授乳などに不安を抱える産婦に対して、心身のケアや授乳指導、育児支援を行う産後ケア事業（宿泊ケア、乳房ケア、デイケア）を実施することで、安心して子育てができるよう支援しました。

3年度は、産後うつ予防や新生児への虐待予防を図るため、産後間もない時期の産婦に対する健康診査に係る費用の助成を開始しました。

- (1) 産婦健康診査利用件数 延べ899件  
開始時期 令和3年10月  
対象者 産後2か月未満の産婦  
助成額 5,000円/1回 ※一人2回まで
- (2) 宿泊ケア利用日数 延べ1,163日
- (3) 乳房ケア利用件数 延べ1,269件
- (4) 産後デイケア利用者数 延べ207組  
※1-5-1葛飾区版ネウボラの推進に再掲

### 3 よちよちキッズ相談事業【新規】（福祉費）

青戸保健センター・育成課 2.5百万円

子育て支援等の情報提供や育児相談等を行うことで、相談支援体制の充実を図りました。また、相談後に育児パッケージ（こども商品券）を配付し、子育て世帯の育児支援を行いました。

- (1) 対象者  
令和3年度に1歳6か月を迎える子どもを育てる家庭
- (2) 内容  
個別相談を実施し、必要な子育て支援等の情報提供や、育児の相談を行いました。
- (3) 育児パッケージ  
こども商品券 10,000円/1人
- (4) 配付実績 2,430人

#### 4 Ⅲ妊婦歯科健康診査【計画】（衛生費）

健康づくり課 6百万円

妊娠中は身体や生活環境の変化により歯科疾患の増加が見られます。歯周病は、早産や低体重児出産を引き起こすリスクが高くなることが指摘されています。また、母親の口腔環境は生まれてくる子どもの口腔環境に大きな影響を与えるため、妊婦を対象とした歯科健康診査と保健指導を実施するとともに、出産後のかかりつけ歯科医の定着を推進しました。

受診者数 1,025人

※1-5-1 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

#### 5 Ⅲかつしか子ども応援事業【計画】（福祉費）

子ども応援課 13百万円

家庭の経済状況や養育環境など様々な事情を有する子どもが、家庭や学校以外で安心して過ごすことができる場を提供しました。

また、保護者の子育ての悩みや不安に応じる養育支援や、学習等の意欲を喚起する支援を行いました。さらに、高校生世代の中途退学未然防止のための支援や中学卒業後進路未決定者や高校中退者の学び直し、就学支援などを引き続き行います。

(1) 自習等サポート支援（登録不要）「愛称：まなびの広場」利用実績

小学生 延べ720人 中学生 延べ230人 高校世代 延べ162人

計 1,112人

(2) 個別支援（登録利用）「愛称：まなびの広場 すまいる」登録実績

小学生 8人 中学生 4人 高校生世代 4人

計 16人

※1-5-1 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

#### 6 Ⅲ若者支援体制の整備【計画】（福祉費）

子ども応援課 10百万円

長期にわたり就学・就労等の社会参加ができずにひきこもり状態等にある若者や、人間関係・仕事・孤独・将来への不安などの悩みを持つ若者を支援するため、相談窓口において、本人又はその家族等からの相談を受け、関係機関と連携して適切な支援を行いました。

相談件数 面接相談 211件 電話相談 82件 訪問相談 38件

同行支援 22件

※1-5-1 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

#### 7 Ⅲ子ども・若者活動団体支援【計画】（福祉費）

子ども応援課 9百万円

社会生活を営む上で、様々な困難や事情を有する区内のおおむね39歳までの方に支援を行う地域活動団体に対し、活動の立上げに係る経費や運営経費の一部を助成し、活動を支援しま

した。また、引き続き、地域活動団体との連携を深め、子ども・若者の自立や健やかな育成を図ります。

助成団体数 22団体

(1) 事業立上げに対する助成 6件

助成率 10/10

助成限度額 20万円/1団体

(2) 活動費に対する助成

①-1 日常的な支援活動 21件

助成率 2/3

助成限度額 月1回以上実施 30万円(42万円)/1団体

週1回以上実施 60万円(72万円)/1団体

※ () は子ども食堂の活動有の場合

①-2 配布・宅配加算 6件

助成率 10/10

助成限度額 60万円/1拠点

②子ども・若者支援等に資するイベント事業 0件

助成率 2/3

助成限度額 60万円/1団体

## 8 園 養育費の受け取り支援事業【新規】(福祉費)

子ども応援課 0.1百万円

ひとり親世帯の経済的負担の軽減や子どもが健やかに成長できるよう、養育費の取決めの重要性を啓発するとともに、公正証書の作成に係る費用や養育費立替保証に係る契約に必要な初回の保証料の一部を助成しました。

(1) 公正証書作成(公証人手数料)助成 4件

助成限度額 43,000円(1回限り)

(2) 養育費立替保証に係る初回の保証料助成 1件

助成限度額 50,000円(1回限り)

## 9 園 児童相談体制の強化【計画】(福祉費)

子ども家庭支援課・児童相談所開設準備室 724百万円

児童虐待や養育困難をはじめとした子どもと家庭の問題に対して、子ども総合センターが中核となって関係機関とのネットワークを更に深化させ、課題を抱える親子に対してかかわりを持ちながら、より適切な子育てサービスを提供する体制を構築します。

また、令和5年10月1日に児童相談所・一時保護所の開設を予定しており、児童相談体制の構築に取り組みました。

スケジュール

令和2年度 基本計画策定、基本設計・実施設計

令和3年度 基本設計・実施設計(～10月末)

令和4年度 本体工事

令和5年度 竣工予定(6月)、開設予定(10月1日)

## 2 子育て環境の充実（重要プロジェクト）

### 1 園 保育所の設置【計画】（福祉費）

子育て施設整備担当課 395百万円

- (1) ミアヘルサ保育園ひびき新小岩（新小岩二丁目1番18号）  
令和4年4月開設、定員60人、ミアヘルサ株式会社が運営  
保育内容 1 1時間保育・2時間延長保育・産休明け保育・緊急一時保育・  
障害児保育・子育てひろば
- (2) (仮称)水元三丁目認定こども園（水元三丁目13番20号、現園：そあ保育園）  
令和5年4月開設、保育定員94人、教育定員15人、社会福祉法人砂原母の会が運営  
保育内容 1 1時間保育・2時間延長保育・産休明け保育・緊急一時保育・障害児保育・  
(予定) 子育てひろば・一時保育
- (3) (仮称)四つ木一丁目認定こども園（四つ木一丁目41番1号、現園：明昭幼稚園）  
令和5年4月開設、保育定員30人、教育定員135人、学校法人関口学園が運営  
保育内容 1 1時間保育・1時間延長保育・産休明け保育・緊急一時保育・障害児保育・  
(予定) 認定こども園の子育て支援事業

### 2 園 「子育て支援施設の整備方針」に基づく施設整備（福祉費）

子育て施設整備担当課・保育課 1,524百万円

- (1) (仮称)西亀有三丁目保育園（現園舎 西亀有一丁目18番6号、新園舎 西亀有三丁目31番）  
令和5年4月開設、定員132人（現在の定員118人）  
（公設公営→民設民営）  
HITOWAキッズライフ株式会社が（仮称）西亀有三丁目保育園として整備・運営  
保育内容 1 1時間保育・2時間延長保育・産休明け保育・緊急一時保育・障害児保育  
(予定) ・子育てひろば・一時保育
- (2) 子ども未来プラザ西新小岩  
上平井保育園（現園舎 西新小岩四丁目33番10号、新園舎 西新小岩四丁目33番2号）  
令和4年7月開設、定員146人  
区が整備・運営  
保育内容 1 1時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育  
併設施設 新小岩地域活動センター、新小岩保健センター、子ども発達センター新小岩分室
- (3) (仮称)子ども未来プラザ小菅  
小菅保育園（仮園舎 小菅二丁目19番1号、新園舎 堀切四丁目60番）  
開設時期未定、定員未定（現在の定員106人）  
区が整備・運営  
保育内容 1 1時間保育・緊急一時保育・障害児保育  
(予定)
- (4) (仮称)子ども未来プラザ白鳥  
白鳥保育園（仮園舎 西亀有一丁目18番6号、新園舎 白鳥三丁目32番）  
令和7年度後半開設、定員未定（現在の定員115人）

区が整備・運営

保育内容 11時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育  
(予定)

(5) (仮称) 子ども未来プラザ東四つ木

渋江保育園 (仮園舎 東立石三丁目3番15号、新園舎 東四つ木二丁目15番)  
令和5年度後半開設、定員未定 (現在の定員117人)

区が整備・運営

保育内容 11時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育  
(予定)

### 3 園通年型預かり保育の実施【計画】 (福祉費)

子育て支援課 202百万円

私立幼稚園及び認定こども園が実施している預かり保育において、保育時間や三季休業中の保育の拡大や、定期的な預かり保育を実施しました。それにより、地域型保育事業の連携施設として、主に小規模保育事業所及び家庭的保育事業所に通園する児童の卒園後の受け入れ先のひとつとするとともに、保育を必要とする児童の就学前の施設選択の幅を広げました。

実施園 17園

### 4 園保育人材の確保【計画】 (福祉費)

育成課・子育て支援課 44百万円

保育人材の確保と定着のため、就職支援コーディネーターによる相談支援に加え、保育人材確保支援事業者のノウハウを活用し、各種取組を一貫して行うことで、より効率的な保育人材確保支援を実施しました。また、奨学金を返済している保育士への支援を実施し、区内で働くインセンティブにつなげました。

(1) 保育士求人サイトによる情報発信・就職フェア等の実施

保育人材確保支援事業者の運営する保育士求人サイトに葛飾区専用ページを開設し、全国に広く情報発信するとともに、就職フェアや潜在保育士等に向けた就職セミナーを実施しました。

(2) 保育士募集パンフレットの作成

区内保育施設への就職希望者や保育士養成校の学生、さらには地方からの就職希望者に対して、葛飾区で保育士として働く魅力を発信しました。

(3) 保育士奨学金返済支援事業

奨学金を利用して保育士資格を取得し、区内認可保育所等で勤務する保育士を対象として、奨学金の返済に要した費用を限度額の範囲内で助成しました。

対象者 210人

限度額 20,000円/月

## 5 園 幼稚園教諭奨学金返済金助成【新規】（福祉費）

子育て支援課 6百万円

奨学金を利用して幼稚園教諭免許を取得し、区内認定こども園及び私立幼稚園に勤務する幼稚園教諭を対象として、奨学金の返済に要した費用を限度額の範囲内で助成することにより、引き続き幼稚園教諭の人材確保と定着を促進します。

対象者 39人  
限度額 20,000円/月

## 6 園 ゆりかご葛飾【計画】（福祉費）

青戸保健センター・育成課・子ども家庭支援課 77百万円

妊娠初期に個別に面接（ゆりかご面接）を行い、一人一人の状況にあわせた出産直後までのサポートプラン「葛飾区ゆりかごプラン」を作成し、必要な支援を行うとともに、妊娠子育て応援券を交付しました。

乳幼児健康診査や産前・産後の母子を支える様々な事業や医療機関と連携し、就学期前までの継続的な支援を行いました。

区民に身近な保健センターや子ども未来プラザなどにおいて、保護者の心身の健康の保持増進を図るための教室、講座等を実施しました。また、妊娠・出産・育児に関する情報提供を行うほか、遊びなどの活動の中で気軽に相談に応じました。

- (1) ゆりかご面接率 79.8%
  - (2) 妊娠子育て応援券交付枚数 2,826枚
- ※1-5-1 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

## 7 多胎児家庭支援事業【新規】（福祉費）

青戸保健センター・育成課 4.8百万円

多胎児家庭を支援するため、家事支援や外出時の補助を行う家事サポーターを派遣するとともに、面接及び母子保健事業利用時の移動に要する費用を助成することで、多胎児家庭の負担軽減を図りました。

- (1) 移動支援事業
  - 対象者 3歳未満の多胎児を養育する世帯
  - 対象経費 面接及び母子保健事業を利用時の移動に要する経費  
※0歳、1歳、2歳時に面接を受けることが要件
  - 助成額 こども商品券 1世帯あたり 24,000円/年
  - 助成世帯数 77世帯
- (2) 家事サポーター派遣事業
  - 対象者 多胎妊婦世帯及び3歳未満の多胎児を養育する世帯
  - 利用時間上限 1世帯当たり 妊娠期～1歳未満 240時間/年  
1歳～2歳未満 180時間/年  
2歳～3歳未満 120時間/年
  - 助成額 2,700円/時間
  - 助成時間数 367時間分





## 2 ㊦ 男性の家庭生活への参画支援事業【計画】（総務費）

人権推進課 0.1百万円

家事・育児・介護などを男性と女性が協力して担えるように、必要な知識やノウハウの取得に向け、男性を支援する講座を行いました。

家事・育児・介護参画講座 4回

## 4 教育環境の充実

### 1 ㊦ 総合的な学力向上事業～次代に活躍する人材の育成～【新規】（教育費）

指導室 74百万円

ICTの活用による個別最適化した子どもの学びや、PDCAサイクルに基づいた教員の授業改善の取組を推進しました。また、ICTを活用した教員の指導力向上や子ども一人一人に応じた学力と情報活用能力の向上のための取組を進めました。

さらに、小学校の学習指導補助員の増員、中学校における全校共通の家庭学習の取組、子ども1人1台のタブレット端末を活用した自学自習等の取組を進めました。

### 2 ㊦ 教育情報化推進事業【計画】（教育費）（一部再掲）

学校教育推進担当課 2,080百万円

子ども一人につき1台のタブレット端末配備をはじめとするICT環境の整備を進めるとともに、災害や感染症の発生等による緊急時においても、全ての子どもたちの学びを保障するため、授業や校務におけるICTの活用等、教育の情報化の推進を図りました。

3年度は1人1台のタブレット端末配備に伴い、通信環境の増強や学習支援アプリケーション等の充実を図るとともに、ICT支援員の支援回数を週2日から週5日に拡大し、子どもたちが支障なくICTを活用できるよう、環境を整えました。

また、保護者連絡用アプリケーションを導入し、学校と保護者間の情報共有の迅速化・確実化を図りました。

※1-4-10放課後等におけるオンライン学習環境の整備及び支援の充実及び  
6-4-1デジタル技術の効果的な活用推進に一部再掲

### 3 ㊦ かつしかグローバル人材育成事業（英語によるコミュニケーション能力育成）

【計画】（教育費）

指導室 66百万円

これからの社会をたくましく生き抜くことができる人材の育成をめざし、「英語によるコミュニケーション能力」を育成できる環境を整備するとともに、そこで得られた資質や能力が十分に発揮できる取組の充実を図りました。

なお、日光移動教室における体験的な外国語活動、夏季休業期間中の英語宿泊体験活動（イ

ングリッシュキャンプ)については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

(1) 葛飾教育の日を活用した「English Day」の実施

A L T を活用した外国語科及び外国語活動の授業を小学校及び保田しおさい学校で行いました。

(2) 中学生英語検定料助成

合計3,654人の中学2・3年生を対象に1回分の英語検定料を助成しました。

(3) 地域英語教材の活用

小・中学生向けの区独自地域英語教材を活用した授業を小・中学校及び保田しおさい学校で行いました。

※1-5-1 葛飾区版ネウボラの推進に再掲及び7-1-1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

#### 4 Ⅲ 学校支援総合対策事業（発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実）【計画】（教育費）

学校施設担当課・学務課・学校教育支援担当課 90百万円

発達上の課題がある子どもに対して教員が巡回指導を行う「特別支援教室」を、引き続き全小・中学校で実施しました。

3年度は「自閉症・情緒障害特別支援学級（固定学級）」を、高砂小・中学校に加え、新たに清和小学校及び立石中学校の2校に令和4年4月開設に向けた準備を進めました。

※1-5-1 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

#### 5 Ⅲ 学校支援総合対策事業（不登校対策プロジェクト）【計画】（教育費）

学校施設担当課・学務課・学校教育支援担当課 43百万円

不登校やその傾向にある子ども一人一人の状況に応じた支援策について、教員経験者と心理専門員が学校と定期的に協議し、学校が家庭と連携して子どもの将来に向けた社会的な自立の支援を行いました。

また、登校できない状況にある子どものため、「ふれあいスクール明石（適応指導教室）」を運営するとともに、登校はできるものの教室に入ることのできない子どもを支援するための「校内適応教室」を、3年度は新たに一之台中学校と青葉中学校に設置しました。

※1-5-1 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

#### 6 Ⅲ いじめ防止対策プロジェクト【拡大】（教育費）

学校教育支援担当課 20百万円

区、学校、地域が連携・協力していじめ防止の徹底を図るほか、いじめの兆候が見えた場合は、当該学校において速やかに学校いじめ対策委員会で協議し、早期に組織的な対応を行っています。

3年度は、学校の適切な初動対応のため、学校現場の相談を受け、問題解決を図るためのスクールロイヤーを導入しました。

## 7 ㊦ 学校支援総合対策事業（日本語指導の充実）【計画】（教育費）

学務課・学校教育支援担当課 43百万円

来日直後等で、日常の学校生活で使う日本語や生活習慣についての指導が必要な子どもに対して日本語の初期指導を行う「にほんごステップアップ教室」を運営しました。

また、「日本語学級」において、授業に必要な日本語の指導を行いました。

さらに、日本語の理解が十分でない児童・生徒及びその保護者と教職員との間の意思疎通を支援するため、引き続き日本語通訳の派遣を行いました。

※1-5-1 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

## 8 ㊦ 体力向上のための取組み【計画】（教育費）

指導室 6百万円

子どもの体力の一層の向上のため、「かつしかっ子体力アッププログラム」を実施し、学校で子どもが運動する機会を増やしました。

また、体育の授業を充実させることで、運動好きの子どもの育成と体力の向上を図りました。

さらに、小学校においては外部指導員を活用し、運動の意欲を高める取組を実施しました。

※1-5-1 葛飾区版ネウボラの推進に再掲及び7-1-1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

## 9 ㊦ 学校施設の改築【計画】（教育費）

学校施設計画担当課・学校施設担当課・学務課 5,038百万円

適切な学習環境を確保できるよう、学校規模の適正化や老朽化の状況などを踏まえ、地域バランスを考慮しながら学校改築を進めています。

また、学校は地域の核となる公共施設であり、災害発生時には地域の避難所としての機能も併せ持っていることから、改築に当たってはそれらの機能の強化に向け、地域の方々とともに協議しながら整備していきます。

3年度は引き続き改築・改修を進めたほか、柴又小学校、宝木塚小学校、常盤中学校で基本構想・基本計画の策定に向けて取り組みました。

### (1) 本田中学校

所在地 東立石四丁目7番1号

施設規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階建

延床面積 改築棟 約3,943㎡

改修棟 約2,162㎡

実施内容 外構整備工事

竣工年月 令和3年8月

### (2) 東金町小学校

所在地 東金町一丁目33番1号

施設規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階建  
延床面積 約8,407㎡  
実施内容 新校舎建設工事、既存校舎解体工事、外構整備工事  
竣工予定 令和4年8月

(3) 西小菅小学校

所在地 小菅一丁目25番1号  
施設規模 鉄筋コンクリート造地上3階建  
延床面積 改築棟 約3,528㎡  
改修棟 約2,026㎡  
実施内容 新校舎建設及び改修工事  
竣工予定 令和5年9月

(4) 高砂けやき学園高砂小学校・高砂中学校

所在地 高砂三丁目30番1号(高砂小学校)  
高砂三丁目32番1号(高砂中学校)  
施設規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階建  
延床面積 約13,967㎡(既存施設の改修部分含む。)  
実施内容 新校舎建設工事  
竣工予定 令和6年3月

(5) 水元小学校

所在地 水元四丁目21番1号  
実施内容 実施設計、仮設校舎建設  
竣工予定 令和8年4月

(6) 道上小学校

所在地 亀有四丁目35番1号  
実施内容 実施設計、仮設校舎建設  
竣工予定 令和8年7月

(7) よつぎ小学校

所在地 四つ木四丁目8番1号  
施設計画 四ツ木中学校との一体整備を検討中  
実施内容 改築懇談会の運営

(8) 二上小学校

所在地 東新小岩七丁目18番1号

施設計画 保育園との合築

実施内容 基本設計

(9) 柴又小学校

所在地 柴又四丁目30番1号

実施内容 改築懇談会の設置準備

(10) 宝木塚小学校

所在地 宝町二丁目29番23号

実施内容 改築懇談会の運営

(11) 常盤中学校

所在地 金町二丁目11番1号

実施内容 改築懇談会の運営

## 10 放課後等におけるオンライン学習環境の整備及び支援の充実【新規】

### (福祉費・教育費) (一部再掲)

#### 育成課・学校教育推進担当課・放課後支援課・中央図書館 58百万円

放課後等に1人1台のタブレット端末を活用してオンライン学習ができるよう、わくわくチャレンジ広場、学童保育クラブ、子ども未来プラザ、全図書館にWi-Fi環境を整備しました。

また、タブレット端末の操作に困ったときや、通信環境に関する保護者等からの相談に応じる窓口を設置しました。

※6-4-1 デジタル技術の効果的な活用推進に再掲

※Wi-Fi環境の整備に関する経費の一部は、1-4-2 教育情報化推進事業及び2-10-2 にいじゅく地区図書館の整備に再掲

## 11 学校体育館への冷暖房機器の設置【計画】 (教育費)

#### 学校施設担当課 480百万円

安全で適切な教育環境を確保するため、また、災害発生時の地域の避難所としての機能を向上させるため、学校体育館に元年度から3年間で冷暖房機器を設置しました。

3年度は、小学校22校の体育館に冷暖房機器を設置しました。

## **5 葛飾区版ネウボラの推進（重要プロジェクト）**

### **1 葛飾区版ネウボラの推進（福祉費・衛生費・教育費）（再掲）**

**子ども家庭支援課・健康づくり課・指導室ほか 569百万円**

妊娠期から子どもが成人するまでの期間を通して、妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援するしくみを「葛飾区版ネウボラ」として推進しました。

#### **（福祉費） 140百万円**

- ・産後ケア体制の整備（1-1-2）
- ・かつしか子ども応援事業（1-1-5）
- ・若者支援体制の整備（1-1-6）
- ・ゆりかご葛飾（1-2-6）

#### **（衛生費） 6百万円**

- ・妊婦歯科健康診査（1-1-4）

#### **（教育費） 422百万円**

- ・学校施設を活用した放課後子ども支援事業（1-2-10）
- ・かつしかグローバル人材育成事業（英語によるコミュニケーション能力育成）（1-4-3）
- ・学校支援総合対策事業（発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実）（1-4-4）
- ・学校支援総合対策事業（不登校対策プロジェクト）（1-4-5）
- ・学校支援総合対策事業（日本語指導の充実）（1-4-7）
- ・体力向上のための取組み（1-4-8）

## 2 健康でともに支えあい、いきいき暮らせる地域社会づくり

### 1 健康づくりの推進

#### 1 区民健康づくり支援【計画】（衛生費）

地域保健課・健康づくり課・青戸保健センター 4. 4百万円

区民が自らの健康を意識し、健康づくりに取り組むきっかけを作りました。

健康に関する情報に触れ、健康づくりを行う機会が増えるよう、健康に関する講義や、区内公共施設や商業施設等でまちかど健康相談を行う予定のところ、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、対面による事業実施を中止し、健康づくりに関する資料やパンフレットの提供を行いました。

また、体（健康づくり）、栄養（食）及び歯科衛生に関する健康づくりの総合的な支援として、スマートフォンや活動量計を使用した健康づくり支援事業を実施しました。支援の内容として、歩数計測、体重や食事の記録のほか、オンライン開催による健康セミナー及びウォーキングラリーをそれぞれ3回実施しました。

#### 2 グループ健康づくり支援【計画】（衛生費）

健康づくり課・青戸保健センター 0.5百万円

健康づくりに取り組む地域の11の自主グループに対して、活動の継続に繋がるよう運営支援を行いました。

また、人数制限や感染症対策を徹底のうえ、健康講座を開催したほか、健康課題に関する資料やパンフレットの配布により情報提供を行いました。

#### 3 働く世代への総合的な健康づくり支援【拡大】（衛生費）

地域保健課・健康づくり課 5百万円

健康寿命の延伸及び生涯にわたる生活の質の向上をめざし、区内事業所の従業員を対象に、体（健康づくり）、栄養（食）及び歯科衛生などの様々な側面から健康づくりを支援しました。栄養に関する健康づくりでは、区の栄養士が従業員の食習慣調査を実施し、食生活や栄養バランス改善のアドバイスを行い、事業所カルテには職場での取り組み状況や食事のワンポイントなどの健康情報を提供しました。

実施期間 令和3年6月～9月（実施期間中の連続する3か月）

実施規模 6事業所 合計50人

#### 4 自殺対策事業【計画】（衛生費）

保健予防課 0.8百万円

自殺予防に関する正しい知識を普及するために、パネル展の実施やリーフレットの作成・配布等による啓発を行いました。

また、自殺の危険がある人に気付き、話を丁寧に聴いて必要な相談窓口につなぐことができる人材を育成するためのゲートキーパー研修を、職員や青少年委員等を対象に実施したほか、区民大学単位認定講座としても実施し、延べ291人が受講しました。さらに、自殺未遂者支援として従来の2医療機関に加え、新たに2医療機関と連携を開始しました。

## 5 Ⅲ 受動喫煙対策の推進【計画】（衛生費）

健康づくり課 8百万円

受動喫煙による健康への悪影響を防止するため、施設内における受動喫煙対策に取り組みました。

令和2年4月から全面施行した改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例が定める施設に応じた対策を進めるため、受動喫煙対策窓口を引き続き設置し、技術的基準の適合を支援するアドバイザーを7回派遣しました。

※7-1-1東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

## 6 Ⅲ 長寿歯科健康診査【計画】（衛生費）

健康づくり課 14百万円

生涯にわたる歯と口の健康づくりと8020運動を推進するため、76歳及び81歳の高齢者を対象に口腔内診査と口腔機能診査を実施し、歯と口の健康づくりを進めました。

### (1) 口腔内診査等の実施

口腔内診査と口腔機能診査を実施し、健診結果に基づいた治療勧奨や保健指導を行いました。また、口腔内診査の結果、81歳で歯を20本以上有する方に対し8020達成証を贈呈しました。

受診者数 1,250人

### (2) 口腔機能維持のためのフォロー教室

「食べる」「話す」に不可欠な口腔機能を維持していくことの大切さを認識してもらい、自らが歯や口の健康増進に取り組んでいけるように、口腔機能診査の結果が要指導となった方を対象にフォロー教室を開催しました。

## 7 Ⅲ かつしか糖尿病アクションプランの推進【計画】（衛生費）

健康づくり課 4.0百万円

糖尿病に関する正しい知識を普及啓発するとともに、糖尿病を予防するために、若年層の健康診査の受診を促進しました。また、糖尿病の疑いがある未受診者や治療中断者に対して受診を促しました。

さらに、499名の方に食事実態調査を実施し、回答のあった202名の方に個別の食習慣結果票を返し、食習慣を見直すきっかけづくりをしました。



## 8 Ⅷがん対策の推進【計画】【拡大】（衛生費）

健康づくり課 622百万円

がんを予防し、がんの早期発見を実現させるため、がん対策を推進しました。

「葛飾区のがん対策のあり方に関する報告書」に基づき、がんの予防に関する普及啓発を促進するとともに、がん検診の受診率・精度管理の向上に取り組みました。

3年度は、子宮頸がん予防ワクチンの有効性や安全性、接種方法等の案内を対象者等に通知しました。また、治療中の区民の就労や社会生活を応援し、前向きに治療に臨めるようにウィッグや胸部補整具の購入費用の一部を156件助成しました。

検診項目	胃がん検診	子宮頸がん検診
	肺がん検診	乳がん検診
	大腸がん検診	前立腺がん検診

## 9 Ⅷかつしかの元気食堂推進事業【計画】（衛生費）

健康づくり課 3.9百万円

区民の健康長寿をめざし、食の環境整備を推進しました。栄養バランスが良い、野菜が多い、自分に合った量を選べるなどの健康に配慮したサービスを提供する飲食店のほか、中食（弁当・惣菜等）での組合せを考慮したメニューを提供する店を「かつしかの元気食堂」に認定し、PRしました。

また、食育に関する情報を定期的に発信する飲食店等を「かつしかの元気な食応援店」に登録し、身近なお店を通じて食の啓発を図りました。

## 2 地域包括ケアシステムの深化・推進（重要プロジェクト）

### 1 Ⅷ認知症の早期発見・早期支援の推進【計画】（福祉費・介護保険事業特別会計）

高齢者支援課 11百万円

認知症高齢者や家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、認知症疾患医療センターや葛飾区医師会と連携し、認知症を早期に発見し、認知症の方や家族を支援していく体制を強化しました。

#### （1）もの忘れ予防健診

①対象者	68歳から75歳の区民	42,671人
	うち、一次健診受診者数	3,102人
	二次健診受診者数	713人

②事業概要 区からもの忘れ予防健診受診券を送付し、区内受託医療機関で、医師による問診と簡易な検査を実施し、認知症の疑いのある高齢者を早期に発見し支援しました。

#### （2）もの忘れ相談会

①実施場所 高齢者総合相談センターなど

②事業概要 医師会の認知症サポート医等が、最近もの忘れが気になる方や認知症の相談をしたい方などの悩みに応じました。

※2-2-4 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の機能強化に別途計上

(3) 認知症初期集中支援チーム

医療・介護の専門職が認知症の疑われる方を早期に訪問し、必要な医療・介護の導入や調整及び家族支援の初期支援を行いました。

## 2 認知症の普及啓発の推進【計画】（福祉費・介護保険事業特別会計）

### 高齢者支援課 1. 0百万円

認知症高齢者や家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、幅広い世代に対して認知症の正しい理解について普及啓発を推進しました。

(1) 認知症サポーター養成講座

区民、事業者、ボランティア団体、小・中学生などを対象に講座を開催して認知症に関する基礎知識や認知症の方への接し方を学んで、地域で見守りができる方を増やしました。

認知症サポーター 1, 200人

(2) 認知症カフェの設置・運営

認知症の方や認知症の方を介護する家族を地域で支えるため、認知症家族会や認知症サポーター等の協力を得て、認知症の方や家族の方が地域で気軽に集える場（認知症カフェ）を区内各所に設置・運営しました。

(3) 普及啓発事業の実施

認知症の普及啓発のため、毎年9月の世界アルツハイマー月間に合わせて、広報かつしかへの普及啓発特集記事の掲載や普及啓発講演会動画をインターネット上で公開しました。

※（1）の一部、（2）は2-2-4高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の機能強化に別途計上

## 3 認知症高齢者徘徊対策の推進【計画】（福祉費・介護保険事業特別会計）

### 高齢者支援課 3. 2百万円

認知症により自宅に戻れなくなる、あるいは事故等に巻き込まれる恐れのある高齢者等を早期に発見し保護することで、身体・生命の安全を守るとともに、万が一の事故等に備え家族の安心につなげました。

(1) おでかけあんしん事業

認知症の症状などで徘徊の恐れのある方に、24時間対応のコールセンターの電話番号が記載されたおでかけあんしんシールを配付します。外出先で警察などに保護されたときに、おでかけあんしんシールを手掛かりに、身元や緊急連絡先を照会し、ご家族等へ連絡することで早期の帰宅につなげました。

加入者数 814人

(2) おでかけあんしん保険

認知症による徘徊に起因する鉄道事故等を発生させ、その家族が損害賠償責任を負うことになった場合などに補償される保険に加入し、家族の経済的・精神的負担を軽減しました。

対象者 おでかけあんしん事業登録者

加入者数 793人

保険料 無料（区が負担）

(3) 徘徊高齢者位置探索サービス助成

徘徊のある高齢者等の方の位置探索サービスにかかる費用の一部を助成しました。

対象者 在宅のおおむね65歳以上の高齢者等を介護している家族

助成者数 5人

補助率 登録料等の9/10（1回限り）

助成限度額 13,500円

#### 4 高年齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の機能強化【計画】

（介護保険事業特別会計）

高齢者支援課 505百万円

ひとり暮らし高齢者の孤立化防止など、地域における高齢者の生活を支援するために、家族や地域住民等から相談や通報を受けるだけでなく、新型コロナウイルス感染症対策を施しつつ、戸別訪問等を実施しました。

高齢者総合相談センター 7か所

（水元、新宿、高砂、青戸、堀切、東四つ木、奥戸）

高齢者総合相談センター分室 7か所

（水元公園、金町、柴又、亀有、お花茶屋、立石、新小岩）

#### 5 生活支援体制整備事業の推進【計画】（介護保険事業特別会計）

地域包括ケア担当課 0.1百万円

高齢者を地域で支える基盤をつくるため、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）が中核となり、地域の生活支援に関するニーズや地域資源を把握し、新たなサービスの創出や担い手となる人材の育成を進め、地域全体で高齢者の生活を支えるしくみをつくりました。

（1）生活支援コーディネーターの配置

区内全域において活動する第1層コーディネーターと日常生活圏域（7圏域）ごとに活動する第2層コーディネーターを配置しました。

（2）協議体の設置及び開催

区内全域を対象とするものを「第1層協議体」、各日常生活圏域を対象とするものを「第2層協議体」として設置し、情報共有及び連携、協働による資源開発等を推進するための協議体を開催しました。

※高齢者総合相談センターに係る経費は、2-2-4 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の機能強化に別途計上

#### 6 在宅医療の推進【計画】（衛生費）

地域保健課 19百万円

高齢者が心身の健康維持を図り、疾病を抱えても住み慣れた地域で生活を続けていくことができるよう、医療機関や介護サービス事業所などの関係機関が連携し、在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を整備しました。

- (1) 在宅療養患者の搬送支援  
在宅で療養を送る方が、安心して生活できる環境を整備するため、病院やかかりつけ医との搬送・連携体制を支援し、年間37件の搬送を行いました。
- (2) 医療連携相談員の設置  
病院、調剤薬局、訪問看護ステーション、ケアマネージャー等と連携し、在宅医療生活を支援する医療連携相談員を配置し、高齢者総合相談センターや区民及び医療機関等からの相談や、病院訪問等、全201件の対応を行いました。
- (3) 在宅医療介護の連携推進  
多職種間の連携強化を図るための在宅医療介護連携推進会議や、普及啓発を目的とした区民向けセミナーは、感染症対策により中止となりましたが、区民に向けて在宅療養に関する普及啓発を行うため、在宅療養ガイドブックを区立施設のほか医療機関窓口に配布しました。

### 3 介護予防事業の充実

#### 1 Ⅲ 区民と取り組む介護予防事業【計画】【拡大】

(福祉費・介護保険事業特別会計)

地域包括ケア担当課 92百万円

高齢者の様々なニーズに対応するため、区又は自主グループなどが実施する様々な介護予防活動について、一括して支援や情報提供できる体制を整備しました。3年度は、引き続き住民主体サービスを支援するとともに、住民主体サービス実施団体のうち高齢者等サロンに保健師や管理栄養士等の医療専門職を派遣し、保健事業とも連携して、区が実施する長寿医療健康診査などの結果から具体的な健康課題を抱える高齢者を抽出し、適切な医療サービス、保健事業及び介護予防につなげました。

- (1) 住民主体サービス実施団体への支援  
地域での介護予防活動が活発化するように、介護予防の要素を含んだ活動（ミニ・デイサービス、高齢者等サロン）を行う団体の運営を支援しました。  
活動団体への助成  
ミニ・デイサービス 18か所（うち新規0か所）  
高齢者等サロン 35か所（うち新規5か所）
- (2) 高齢者等サロンへの医療専門職の派遣  
高齢者等サロンに高齢者総合相談センター及び区内医療機関等の医療専門職を派遣し、健康指導・健康相談を行いました（7圏域のうち4圏域先行実施）。
- (3) 筋力向上・脳力（のうちから）トレーニング事業及び回想法教室事業  
身体機能の向上や認知症の予防に効果が見込まれるトレーニング講座を開催するとともに、地域のリーダーを養成し、介護予防に取り組む地域の団体を支援しました。
- (4) うんどう教室事業  
公園内に設置した、専用の運動器具を使用して、つまずいたり、ふらついたりすることを予防するうんどう教室の開催及び地域指導員の支援を行いました。  
①うんどう教室  
対 象 おおむね65歳以上  
実施場所 高砂北公園・お花茶屋公園・間栗公園・東金町四丁目平成公園・青戸平和公園  
実施回数 月2回

参加者数	延べ783人
②地域指導員スキルアップ講座	
対象	地域指導員実践教育修了者
実施場所	高砂北公園・お花茶屋公園・間栗公園・ 東金町四丁目平成公園・青戸平和公園
実施回数	年4回
参加者数	延べ154人

## 2 Ⅲ介護予防チャレンジ事業【計画】（福祉費）

### 地域包括ケア担当課 4. 9百万円

専門の講師やトレーナーなどの指導を受けながら行う、身体機能の維持や認知症予防に効果のあるプログラムを実施し、介護予防に取り組むきっかけづくりとしました。

また、運動習慣推進プラチナ・フィットネス事業については、引き続きフィットネスクラブと協働して、運動習慣の促進と介護予防に取り組む高齢者の増加につなげました。

#### (1) 介護予防教室事業

心豊かに音楽療法、脳活ミュージック倶楽部、やさしい大人の塗り絵、健美操、まちかどエクササイズ、スポーツボイスフィットネス、コグニサイズ、こころと姿勢を整える座禅・瞑想

参加者数 延べ1, 772人

#### (2) 運動習慣推進プラチナ・フィットネス事業

高齢者が要支援・要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で自立した生活を送れるように、フィットネスクラブの運動プログラムの中から、体力や興味にあわせたプログラムへの参加を支援しました。専門インストラクターが利用者に対して運動の指導・助言を行うとともに運動が習慣化されるように働きかけることで、運動の継続性を確保しました。

①対象者 要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の区民

②実施場所 区内に施設を有するフィットネスクラブ（9か所）

③参加者数 186人

#### (3) シニア版ポニースクール事業

ポニースクールかつしかにおいて、介護予防に関する講話のほか、ポニーの乗馬（引き馬）や餌やり、手入れを行いました。足腰のトレーニングや正しい姿勢の保持につなげることで、介護予防への意欲を高めました。

①対象者 要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の区民

②参加者数 延べ163人

## 3 Ⅲ高齢者に対する栄養指導（衛生費）

### 健康づくり課 1. 2百万円

高齢者の健康課題であるフレイル（心身が虚弱な状態）やサルコペニア（加齢に伴う筋肉量の減少）対策の一環として、長寿医療健康診査を活用し、意識啓発や栄養指導機能訓練を行いました。

#### (1) 意識啓発

長寿医療健康診査受診者のうち、フレイルが疑われる方にフレイル予防リーフレットを

配布し、フレイルに対する意識の啓発を行いました。

(2) 栄養指導機能訓練

長寿医療健康診査や健康長寿いきいき健康診査の結果、フレイルやサルコペニアが疑われる方に対し、医師会フレイル予防サルコペニア対策室の案内を行い、栄養士による栄養指導や理学療法士等による保健指導を12人に実施しました。

## 4 介護・福祉サービスの充実

### 1 福祉人材の確保・定着支援【拡大】（福祉費）

介護保険課 11百万円

福祉人材の確保と定着を目的に、資格取得に掛かる費用の助成であるキャリアアップ助成や、職員向けの研修等を実施しました。

キャリアアップ助成

(1) 生活援助従事者研修	補助率	10/10
	限度額	60,000円/1人
	補助人数	0人
(2) 初任者研修	補助率	10/10
	限度額	90,000円/1人
	補助人数	19人
(3) 実務者研修	補助率	1/2
	限度額	180,000円/1人
	補助人数	12人

## 5 障害者の自立生活支援

### 1 障害者就労支援システムの整備【計画】【拡大】（福祉費）

障害福祉課 59百万円

18歳以上の就労意欲がある障害のある方に対して、企業実習や作業訓練等を通して一般企業への就労を支援し、一般就労の機会の拡大を図ります。障害のある方が一般企業へ就労した後も、継続して働き続けることができるよう、就労定着支援事業所と連携し、職場定着のための支援の充実を図ります。障害特性に合わせた短時間の働き方など多様な働き方も含めて支援しました。

また、障害のある方の就労意欲を向上させるとともに経済的な自立を支援するため、区内障害者通所施設の工賃向上に向けた支援内容を充実するとともに、共同受注体制を構築しました。

ITを活用した就職面接への対応や自主生産品の販売など、新たな生活様式に対応した障害者就労支援について検討、実施しました。

(1) 就労訓練、職場定着支援

職場開拓、求職活動の支援及び就労後の定着支援のために、就労支援専門員を8人配置しました。

また、民間通所施設及び企業内の通所訓練施設に対する就労支援指導員に係る経費の助成を引き続き実施しました。

(2) チャレンジ雇用

知的障害、精神障害のある方を区の会計年度任用職員として雇用し、個別支援プログラムに基づき、区役所内の仕事を通じて経験や技術を高めるとともに、定期的な求職活動を行うことにより、一般就労に結びつけました。

(3) 利用者工賃向上推進事業

障害者通所施設に対して、販売計画や目標工賃、施設の特徴を活かした企画立案のための経営コンサルタントの派遣費用やその具体的な取組に要する経費を助成しました。3年度は、新たに共同受注体制の構築や自主生産品アドバイザーを派遣することで工賃向上を図りました。

## 2 精神保健福祉包括ケアの推進【計画】（衛生費）

保健予防課 10百万円

精神障害のある方が、住み慣れた地域で医療を継続し、充実した生活を送ることができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加、地域の助け合いが包括的に確保された「精神障害に対応した地域包括ケアシステム」の実現をめざしています。

3年度は、葛飾区精神保健福祉包括ケア推進協議会を書面にて、長期入院患者等支援検討部会及び精神保健在宅療養部会を合同にて開催し、措置入院や長期入院等をしている方の退院支援や在宅療養支援について、関係機関と意見交換を行いました。また、重度の精神障害のある方に対し心身障害者福祉手当を支給しました。

心身障害者福祉手当（精神障害）支給件数 321件

## 3 障害への理解と交流の促進（福祉費）

障害福祉課・障害者施設課 9百万円

障害者週間に関連した障害者作品展や普及啓発講座の実施、障害者施設自主生産品販売所における販売等を通じ、広く区民・事業者の方に対して障害への理解を広げ、障害のある方への配慮が地域で実践され、障害のある方とない方の交流を深められるよう支援しました。

(1) 障害者週間行事（ウェルピアまつり・福祉表彰・障害者作品展）

障害のある方が、あらゆる分野の活動へ積極的に参加する意欲を高めるとともに、区民の方々が広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるために、福祉表彰と障害者作品展を開催しました。

(2) 区民向け講座の開催

障害に対する理解を促進するため、区民向けの講座を実施しました。

大人向け 0回（新型コロナウイルス感染症の影響のため中止）

子ども向け 1回

(3) 自主生産品販売所の運営支援

自主生産品販売所を住民との交流の場とし、障害者への理解の促進を図りました。

障害者自主生産品販売所（愛称：+ c h o i c e（ぷらすちよいす））

所在地 青戸五丁目14番5号

#### 4 Ⅲ 重度障害者日中活動促進支援事業【新規】（福祉費）

障害福祉課 168百万円

重度の障害のある方の日中活動の場である通所施設へ補助することで、地域で自分らしく生活ができるように支援し、活動の場の促進を図りました。

##### (1) 重度障害者支援補助

増加傾向にある重度障害者の生活介護事業所における受け入れを推進するため、重度障害者の受け入れ実績に応じて補助しました。

対象施設 区内の生活介護事業所

補助額 重度障害者に係る基本報酬実績額の25%

補助件数 7件

##### (2) 利用者欠席補助

欠席割合の多い障害者の受け入れを推進するため、欠席により不算定となる報酬の一定割合を補助しました。

対象施設 区内の生活介護事業所

補助額 利用者が全日出席した場合の基本報酬額から基本報酬実績額を減じた額（差額）の50%

補助件数 12件

## 6 低所得者の支援

#### 1 Ⅲ 生活困窮者自立支援事業【計画】【拡大】（福祉費）

福祉管理課 408百万円

生活困窮者からの相談に対し、専門の相談員が一人一人の状況に応じた支援計画を作成し、就労支援や住居確保給付金の支給など、継続的な自立に向けた支援を行いました。

さらに、様々な事情を抱える生活困窮世帯への相談体制を強化し、アウトリーチ（訪問支援）や関係機関との連携により、包括的な支援を進めました。

住居確保給付金 53,700円（上限）※単身世帯の額

支給期間 最長9か月（令和2年度の新規受給者は最長12か月）

新規決定件数 611件

## 7 地域の支えあいの推進

#### 1 Ⅲ 成年後見事業の拡充【計画】（福祉費）

福祉管理課・高齢者支援課・障害福祉課 68百万円

加齢や疾病等による認知機能の低下、障害等により判断能力が不十分な方に対し、本人の意思を尊重した意思決定支援を進めるため、成年後見センターに設置した中核機関を中心に区の関連部署や専門機関が連携し、本人の状況に即した支援を行いました。

また、後見の担い手を増やすために、身近な地域の支援者である市民後見人の育成を進めるとともに、地域団体等の活動を支援しました。さらに、成年後見制度の利用を促進するため、幅広く相談を受け付ける相談窓口の充実に取り組むとともに、申立費用や後見人等に対する報



酬を助成しました。

(1) 区長申立制度、成年後見制度の利用支援

成年後見制度を利用することが有用であると認められる高齢者や障害者で、成年後見の申立てをする方がいない場合は、区長が成年後見の申立てを行いました。

また、後見人等報酬費用について、助成を受けなければ制度の利用が困難な方にその費用の全部または一部を助成しました。

(2) 成年後見センターの運営

葛飾区社会福祉協議会内に設置した「葛飾区成年後見センター」で、成年後見制度に関する相談や支援、普及・啓発、法人後見の受任などを行うとともに、市民後見人を養成しました。

また、センター内に設置した中核機関において検討支援会議を開催し、受任調整等を行うとともに、チームによる支援の推進を図りました。

## 8 スポーツによる元気なまちづくり（重要プロジェクト）

### 1 囲 高齢者の健康づくりの推進【計画】（教育費）

生涯スポーツ課 6百万円

高齢者が自主的・積極的に安心してスポーツに取り組める環境整備として、区民が定期的に自身の体力状況を把握できるように、年2回の体力テストを実施しました。

また、本区の高齢者推奨スポーツであるグラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、ダーツを引き続き普及していくほか、ウォーキングやランニングによる健康づくりを推進しました。

さらに、高齢者スポーツを支援するための葛飾区公認スポーツ指導員やスポーツボランティアの育成を図り、活動する場を設けました。

- |                    |   |
|--------------------|---|
| (1) ～測って知ろう～体力テスト  | 大規模測定会（奥戸・水元）<br>年2回 計246人  |
| (2) 高齢者推奨スポーツ      | 大会（グラウンド・ゴルフ） 計86人<br>教室（3種目） 年各4回程度<br>バウンドテニス大会、ダーツ大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 |
| (3) ウォーキング・ランニング推進 | ウォーキング 年1回 302人<br>シティロゲイニング 年1回 178人   |
| (4) ランニングステーション事業  | ランニング5教室 計67人<br>ウォーキング5教室 計60人   |
| (5) スポーツ指導員養成講習会   | 共通科目 年1回 9人<br>専門科目 年3回 計62人  |
| (6) スポーツボランティア講習会  | 年2回 計22人  |

※(3)及び(6)は、7-1-1東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

### 2 囲 障害者スポーツの推進【計画】（教育費）

生涯スポーツ課 5百万円

障害者が自主的に安心してスポーツ活動に取り組めるよう、障害者スポーツ指導員を養成す

るとともに、年間を通して指導員と協働して定期的に教室を開催しました。

また、パラリンピック公式種目であるボッチャ競技の普及推進を行い、東京2020大会の気運醸成を図るとともに、ユニバーサルスポーツの継続した普及と発展を図りました。

- (1) 障害者水泳教室 年19回 計96人(専用コース 年18回 計59人)
  - (2) 障害者スポーツ教室 年24回 計455人
  - (3) 障害者スポーツ指導員養成・活用 講義9回・実技4回 計12人
  - (4) ボッチャ交流大会 年1回 62人
  - (5) ボッチャ教室 年5回 計44人(施設開放 週1回 計463人)
  - (6) フロアホッケー 大規模大会・教室 計30人(施設開放 週1回 計549人)
- ※(4)は、7-1-1東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

### 3 区民健康スポーツ参加促進事業【計画】(教育費)

生涯スポーツ課 5百万円

(一社)葛飾区体育協会と協働して、40の加盟団体スポーツ種目を中心に、高齢者・障害者・ジュニア層・子育て中の親子など、あらゆる世代を対象として、運動経験の少ない方や初心者向けのスポーツ教室、体験会などの事業を実施しました。

※7-1-1東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

### 4 スポーツ施設の利用しやすい環境整備【計画】(教育費)

生涯スポーツ課 336百万円

スポーツ施設を安心して利用できるよう、老朽化に伴う改修や、利便性・安全性を向上させるとともに、バリアフリーにも配慮した計画的なスポーツ施設の改修などに取り組みました。

3年度は、奥戸総合スポーツセンターエイトホール・野球場改修工事のほか、陸上競技場人工芝充填材入替工事等を行いました。

- (1) 奥戸総合スポーツセンター改修
  - 令和3年度 エイトホール・野球場改修工事
  - 陸上競技場人工芝充填材入替工事
  - 少年野球場改修設計委託
- (2) 東金町運動場スポーツライミングセンター改修
  - 令和3年度 スポーツライミングセンター排水設備整備設計委託

※7-1-1東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

### 5 かつしかふれあいRUNフェスタ2022の開催(教育費)

生涯スポーツ課 12百万円

子どもから高齢者まで幅広い層の区民が、個人や家族、仲間同士で参加できるだけでなく、区内商店や浴場組合などの協力店舗によるおもてなしサービスなど様々な企画を通じて、イベントを楽しめる機会を確保し、スポーツ実施率の向上や健康増進をはじめ、多世代の交流や地域との交流などにつながるスポーツイベントとして開催しました。

- (1) 開催日 オンライン形式 令和4年3月1日(火)から3月13日(日)  
リアル形式は中止とし、令和4年3月18日(金)から3月28日(月)  
の期間にオンライン形式に切り替えて実施しました。
- (2) 内容  
全国どこからでも参加可能  
参加者数 3,016人  
オンライン形式 計198人  
リアル形式 計2,818人エントリー  
リアル形式のうち、989人がオンライン形式に切り替えて参加しました。
- 参加費 オンライン形式 1,500円  
リアル形式 1,500～5,000円

## 9 生涯学習事業の推進

### 1 囲 かつしか区民大学事業の推進【計画】(教育費)

生涯学習課 6百万円

「かつしか区民大学」は、区が企画する講座、大学などの教育機関との連携・協働講座、区民や団体が企画する講座を実施し、多様な学習の場を通じて、区民の自己実現を支援しました。

また、様々な地域活動や市民活動の担い手・リーダーとして活躍し、地域に貢献できる人材を育成するため、継続的な学びの仕組みづくりを進めました。

※かつしか区民大学講座に係る経費の一部は、7-1-1東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

### 2 囲 学びの機会の充実(教育費)

生涯学習課 1.3百万円

コロナ禍においても、あらゆる世代の区民の主体的な学びの機会を拡充するため、オンラインを活用した講座の開催や、Twitterやnoteといった様々な媒体を利用して学習情報の発信を行いました。

また、コロナ禍で地域活動が十分に行えない中でも、「学びの循環」が地域社会に生まれるよう、団体・サークル活動の支援を継続的に行いました。

### 3 囲 郷土と天文の博物館展示事業の充実【計画】(教育費)

生涯学習課 7百万円

新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、区民ニーズを踏まえた新たなテーマや切り口で、特別展・企画展を開催するとともに、プラネタリウムも、よりクオリティの高い番組を放映しました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティア活動は休止しました。

特別企画展示室等での展示実施 2回

※一部は、7-1-1東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組

に再掲

## **1 0 図書館サービスの充実**

### **1 電子図書館の導入【新規】（教育費）**

**中央図書館 1 0 百万円**

図書館に来館することなく24時間365日いつでもインターネット上で電子書籍を貸し出すサービスを導入しました。電子書籍は貸出期間中、個人のタブレット端末やスマートフォン等から閲覧することができます。

コンテンツ数 9,441冊（有料909冊、無料8,532冊）

利用開始 令和3年9月1日から

貸出冊数 一人2冊まで

貸出期間 14日間

※6-4-1 デジタル技術の効果的な活用推進に再掲

### **2 にいじゅく地区図書館の整備（教育費）**

**中央図書館 1 1 3 百万円**

東京かつしか赤十字母子医療センター（旧：葛飾赤十字産院）の移転・開設に伴い、「にいじゅく地区図書館」を医療センター内に開館しました。

産院内の区立図書館という特性を踏まえ、子育て関連の書籍や乳幼児向け絵本の充実、産院との連携事業で出産前の読書支援事業を行うなど、特色ある図書館運営を行っています。

所在地 新宿三丁目7番1号  
（東京かつしか赤十字母子医療センター内）

施設面積 約246㎡

蔵書数 24,639冊  
（開館準備に伴う図書・CDの合計）

開館日 令和3年6月2日

※一部は、1-4-10 放課後等におけるオンライン学習環境の整備及び支援の充実に再掲

### 3 住み続けたいと思える、安全・安心なまちづくり

#### 1 自助・共助・公助による災害対応力の強化（重要プロジェクト）

##### 1 水害対策の強化【計画】【拡大】（総務費）

危機管理課・調整課・都市計画課・公園課 97百万円

元年度に新たに作成した水害ハザードマップを活用し、職員出前講座や水害ハザードマップ説明会等において、大規模水害時の避難行動について啓発を行ったほか、近隣自治体との相互協力体制の構築を進める一方で、逃げ遅れた場合に備え、中高層建築物へ避難できるしくみづくりに取り組みました。

また、台風が接近・通過した時など、川の水位が上昇しているときに、区民が川の状況を確認できるように、河川監視カメラの設置を進めました。3年度は設置に係る設計を行い、4年度に設置工事をし、4年7月から運用を開始しました。

さらに、大規模水害のリスクに備えた「浸水対応型市街地構想」に基づき、その実現方策を検討しました。

加えて、周辺堤防よりも低い京成本線荒川橋梁部において、3年度に線路両脇の堤防上に完成したコンクリート製擁壁（パラペット）を活用した水防工法を実施するために、線路部を平坦化するための覆工板、パラペットと連結させて越水を防止するための大型止水板、止水板の支えとなる大型水のう及び、注水するための小型排水ポンプを配備し、台風等の越水対策を進めました。

##### 2 学校避難所の防災機能の強化【計画】（総務費）

地域防災課 21百万円

災害時の断水に備えて、避難所となる小・中学校にマンホールトイレの整備を行うとともに、マンホールトイレの水利を確保するため、井戸の整備を行いました。

マンホールトイレの設置	2校
井戸整備	1校

##### 3 地域防災の連携・強化【計画】（総務費）

地域防災課・危機管理課 4.6百万円

避難所開設の初動活動や開設後の運営について、地域と学校が主体となった自主的活動として確立されるように、学校避難所運営会議や訓練を実施しました。また、町会や学校などの役員改選、人事異動などから避難所運営会議及び訓練に支障が生じないように、サポートを行うとともに、震災時や水害も想定した訓練を実施し、確実な継続と新たな運営協力者を発掘していきます。

地域の防災資源を活用して、地震や水害などの災害にどう立ち向かっていくかを地域住民が主体となって検討する会議を地域ごとに開催します。会議の中で、自治町会、消防団、PTA、企業等による地域ぐるみの防災ネットワーク（地域内協定）を構築し、地域防災力の強化を図るとともに、地域の特性を踏まえた各地域の防災マニュアルの策定を支援しました。

3年度は、学校避難所運営会議2校、地域防災会議2か所において、防災マニュアルの策定

を支援しました。

#### 4 ㊦ 防災の意識啓発【計画】（総務費）

地域防災課 1. 8百万円

防災対策は、自らの命は自らで守る「自助」が基本となり、共助・公助は自助を前提として成り立ちます。自助・共助の意識付けをするために、幅広い層を対象とした防災講演会やワークショップを実施して、防災の意識啓発を図りました。

また、若年層を含む多くの区民の方が防災に関心をもてるよう、放水体験やゲーム形式の防災訓練等を実施し、防災への意識啓発を図りました。

#### 5 ㊦ 防災活動拠点の整備【計画】（総務費）

地域防災課 0. 6百万円

地域防災計画に掲げた減災目標（被害の半減）を達成するため、国の補助制度を活用し、防災活動拠点として、公園に防災井戸、防災倉庫、仮設トイレ用マンホール、かまど兼用炊き出しベンチ等を設置し、救出・救助活動や生活支援活動等を行う防災市民組織による自主防災活動の場として防災活動拠点を整備します。

3年度は、老朽化した可搬型発電機等の資器材を更新しました。

#### 6 ㊦ 災害対策本部の強化【計画】（総務費）

危機管理課・調整課 4 3百万円

首都直下地震や水害などの大規模災害において区民の生命・財産を守るため、災害対策本部が災害対策各部及び防災関係機関と連携し迅速かつ効果的に応急・復旧活動を行うことができるよう、IP無線や災害対策用スマートフォンなどの情報伝達ツールを活用しながら実動訓練を実施しました。

3年度は、総合防災訓練において災害対策本部の運営や避難所の開設など、災害初動期や避難指示発令後など各フェーズでの組織及び職員の行動を再確認したほか、災害対策本部マニュアルや情報連絡票の見直しを行い、災害対応力の強化を図りました。

#### 7 ㊦ 受援・物資搬送の強化【計画】（総務費）

危機管理課・地域防災課 7 3百万円

大規模災害時において、都・他自治体等からの人的支援の円滑な受入れや、支援職員の活用方法等について定めた「葛飾区災害時受援計画」及び災害時に避難者の要望に応えられる区の備蓄の在り方や、応援物資の受入れ・配送等に関する「物資搬送計画」に基づき、災害対応活動力を向上させるために、災害対策本部訓練や受援に関する訓練の実施、関係機関との協定締結の推進、輸送拠点施設の改修を推進しました。

## 8 図 災害時協力井戸設置助成【計画】（総務費）

地域防災課 0百万円

福祉施設等の災害時に支援が必要となる方が入所・通所している施設では、断水による生活用水の確保が重要になります。このような施設が災害時には区民にも使用できるよう井戸を設置した場合に、設置にかかる費用を助成します。

3年度は、災害時協力井戸設置にかかる助成実績はありませんでした。

## 9 図 女性視点の防災対策推進【新規】（総務費）

危機管理課 0.6百万円

避難所運営や備蓄物資の配備などにおいて、女性の視点を取り入れる必要があります。そのため、女性のための防災対策等検討委員会の実施や、その検討結果に基づく地域防災計画の見直しを行いました。また、女性全体や、乳幼児の母親等を対象として、自助・共助の力を高めるための防災セミナーを実施しました。

# 2 災害に強いまちづくり

## 1 図 民間建築物耐震診断・改修事業【計画】（総務費）

建築課 361百万円

震災時における建物の倒壊による道路閉塞を防止し、区民の生命を守るため、耐震化促進事業を進めており、木造住宅の耐震診断士無料派遣のほか、旧耐震基準で木造以外の建築物の耐震診断や耐震改修等にかかる工事費用の一部を助成しました。耐震化促進事業の周知については、広報紙やホームページによる案内のほか、建築士事務所協会と連携を図り相談窓口や説明会を実施しました。

- (1) 木造住宅耐震診断士無料派遣 408件
- (2) 木造建築物耐震化助成
  - ①設計 14件
  - ②改修 15件
  - ③建替え 130件
  - ④除却 163件
- (3) 建築物（木造以外）耐震化助成
  - ①診断 0件
  - ②設計 0件
  - ③改修 1件
- (4) 一般緊急輸送道路沿道の建築物耐震化助成
  - ①診断 0件
  - ②設計 0件
  - ③改修 0件
- (5) 特定緊急輸送道路沿道の建築物耐震化助成
  - ①設計 0件
  - ②改修（建替え、除却を含む） 1件

- (6) 耐震シェルター等助成 0 件
- (7) 耐震アドバイザー無料派遣 0 件
- (8) 耐震化促進活動支援業務委託  
耐震化促進普及啓発のための説明会及び相談会の開催 1 1 回  
(液状化対策説明会と同時開催)
- (9) 耐震事業相談・受付等業務委託  
葛飾区建築設計事務所協会による相談・受付 (建築課内) 1 0 0 日

## 2 圃地盤の液状化対策【計画】(総務費)

**建築課 4. 0 百万円**

地盤の液状化による住宅の被害を軽減させるため、窓口相談や説明会において区民向けのパンフレット等を活用して情報提供を行いました。

また、建築敷地の地盤状況を把握するとともに、液状化対策を実施しやすくなるよう、住宅の新築や建替えの際に地盤調査費や液状化対策費の一部を助成しました。

- (1) 液状化対策パンフレットの印刷
- (2) 液状化対策説明会の開催 1 1 回  
(耐震化促進普及啓発のための説明会及び相談会と同時開催)
- (3) 地盤調査費助成 9 件
- (4) 液状化対策費助成 1 件

## 3 圃四つ木地区の街づくり【計画】【拡大】(都市整備費)

**密集地域整備担当課・住環境整備課 1 7 8 百万円**

密集住宅市街地整備促進事業により、主要生活道路や災害時に一時的に避難できる公園・小広場の整備、細街路の拡幅などを促進し、地区計画による規制・誘導や不燃化特区の助成制度とともに、災害に強い街づくりを進めています。

3 年度は、主要生活道路の整備や公園の用地取得を行いました。また、不燃化建替え助成・老朽建築物除却助成により地区内の不燃化を促進しました。

老朽建築物除却助成 (拡充)

老朽化した空き家等への対応のため、老朽建築物除却助成の限度額を拡充しました。

限度額 1 0 0 万円 → 2 0 0 万円

## 4 圃東四つ木地区の街づくり【計画】【拡大】(都市整備費)

**密集地域整備担当課・住環境整備課 4 1 百万円**

密集住宅市街地整備促進事業により、主要生活道路や災害時に一時的に避難できる公園・小広場の整備、細街路の拡幅などを促進し、地区計画による規制・誘導や不燃化特区の助成制度とともに、災害に強い街づくりを進めています。

3 年度は、不燃化建替え助成・老朽建築物除却助成により地区内の不燃化を促進しました。

※老朽建築物除却助成の内容は、四つ木地区の街づくりと同じ



## 5 区 東立石地区の街づくり【計画】【拡大】（都市整備費）

密集地域整備担当課・住環境整備課 487百万円

密集住宅市街地整備促進事業により、主要生活道路や災害時に一時的に避難できる小広場の整備、細街路の拡幅などを促進し、地区計画による規制・誘導や不燃化特区の助成制度とともに、災害に強い街づくりを進めています。

3年度は、主要生活道路の用地取得や設計を行いました。また、不燃化建替え助成・老朽建築物除却助成により地区内の不燃化を促進しました。

※老朽建築物除却助成の内容は、四つ木地区の街づくりと同じ

## 6 区 堀切地区の街づくり【計画】【拡大】（都市整備費）

密集地域整備担当課・道路管理課ほか 201百万円

堀切地区のめざすべき街の将来像である「堀切地区まちづくり構想」を基に作成した「まちづくり戦略（案）」の具体化に向け、地域のまちづくり組織への支援を行うとともに、京成本線荒川橋梁架替事業と連携した街づくりや東京都と連携した歩行環境改善を進めています。

また、密集住宅市街地整備促進事業により、主要生活道路や災害時に一時的に避難できる公園・小広場の整備、細街路の拡幅などを促進し、地区計画による規制・誘導や不燃化特区の助成制度とともに、災害に強い街づくりを進めています。

3年度は、引き続き、まちづくり推進協議会への活動支援を行うとともに、堀切菖蒲園駅周辺における「まちづくり戦略（案）」の具体化や橋梁架替事業と連携した街づくりの検討を行いました。

加えて、堀切二丁目周辺及び四丁目地区において、不燃化建替え助成・老朽建築物除却助成により地区内の不燃化を促進しました。

さらに、歩行環境改善のため、都市計画道路補助第109号線に隣接した水路敷上の建物の物件調査や、権利者への内容説明を行いました。

※老朽建築物除却助成の内容は、四つ木地区の街づくりと同じ

## 7 区 細街路拡幅整備事業【計画】（都市整備費）

住環境整備課 214百万円

幅員の狭い道路を4メートルの道路とするために、建築時に道路中心を明確にし、拡幅整備を行いました。また、建築予定がない場合でも、関係権利者の協力により拡幅可能な箇所を整備しました。

個別方式 196件 2,186m

## 8 区 空家等対策【計画】（都市整備費）

住環境整備課 4.1百万円

適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の観点で、周辺に深刻な影響を及ぼしているため、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、管理者への助言・指導

等を行い、地域住民の生命・身体・財産の保護及び生活環境の保全等を推進しました。

また、空家等対策計画に基づき、空家等の対策を着実に進めました。

(1) 空家等対策協議会の開催

①開 催 5回（協議会2回、専門部会3回）

②協議内容 区の空家等対策の重要事項に関すること など

(2) 空家等現地調査等

空家等の老朽度や周辺への影響を確認するため、専門家と立入調査を行うとともに、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、適切な措置を行いました。

(3) 空家等管理適正化支援

空家等の所有者に対して専門家の派遣や管理委託費用等の助成を行いました。

## 9 Ⅷ 災害医療体制の強化（総務費）

### 障害福祉課・地域保健課・保健予防課 32百万円

首都直下地震や台風などの大規模災害において、区民の生命と健康を守るため、迅速かつ適切な医療救護活動を行うことができるよう、関係機関と連携し、実動の訓練を実施するとともに災害医療救護計画やマニュアル及び医療救護体制などの見直しに着手しました。

また、在宅人工呼吸器使用者について、災害時個別支援計画の作成・見直しを行うとともに、災害時の電源供給の停止により呼吸器使用者が生命の危険にさらされないよう、各家庭における非常用の電源確保を支援しました。

非常用電源総貸与者数 17人

## 3 生活安全対策の推進

### 1 Ⅷ 地域安全活動支援事業【計画】（総務費）

#### 地域防災課・生活安全課 61百万円

犯罪や事故の発生を減らし区民の安全を守るため、関係団体との連携を図りながら、区民・地域への啓発・情報提供、各種犯罪の被害防止、地域で行われる自主活動や防犯設備の整備に対する支援などを推進し、安全な地域社会の形成に取り組みました。

### 2 Ⅷ 消費者対策推進事業【計画】（産業経済費）

#### 産業経済課 34百万円

区民が自立した消費者として行動できるよう、消費者問題に取り組んでいる団体の活動を支援するとともに、消費者情報の提供、消費者講座等の学習機会の確保、消費生活相談の実施など、様々な取組を推進しました。

3年度は、成年年齢引き下げに関する啓発ポスターを区内に掲示し、啓発チラシを成人式の会場で配布しました。

また、葛飾区消費生活対策アクションプログラムに基づき、区内小・中学校と連携し、出前教室を行いました。

消費者講座 15回 延べ300人

出前教室 5回 延べ403人

### 3 Ⅲ 予防接種費用助成の拡充【計画】【拡大】（衛生費）

保健予防課 106百万円

感染症の予防や二次的障害の防止を進めるため、1歳のおたふくかぜ予防接種費用の無料化や風しん抗体量が十分でない19歳以上の予防接種費用の無料化、免疫消失後再接種者への費用助成を行い、接種の促進を図りました。

3年度は、生後6か月から中学3年生（16歳未満）のインフルエンザ予防接種費用の一部を助成しました。

おたふくかぜ予防接種	2,809人
風しん抗体検査	4,580人
風しん予防接種	1,534人
免疫消失後再接種	4種
インフルエンザ予防接種	35,198人

### 4 Ⅲ 感染症対策の強化【計画】（衛生費）

保健予防課 0.2百万円

国外からもたらされる感染症の脅威に対応するため、医療資器材の備蓄、感染症危機管理システムを活用した医療機関との連携強化を行い、感染症の拡大予防及びまん延防止対策を総合的に進めました。

### 5 新型コロナウイルス感染症対策の取組（産業経済費・福祉費・衛生費ほか）

福祉管理課・保健予防課・子育て支援課ほか 19,478百万円

新型コロナウイルス感染症から区民の生命・財産を守るため、区内商業の振興支援や中小企業支援などの社会経済活動の維持への取組をはじめ、新型コロナウイルス感染症の受診相談等の医療提供体制の維持への取組等を、3年度も引き続き行いました。

また、感染拡大を防止するため、新型コロナウイルス感染症に関する情報発信のほか、オンラインや郵送による行政サービスの提供、密を回避した事業実施等にも取り組みました。

主な取組

#### （1）地域経済への支援の拡大 13,580百万円

令和2年12月に創設した「新型コロナウイルス対策経営改善設備資金融資」に加えて、新たに「新型コロナウイルス対策持続化支援融資」及び「新型コロナウイルス対策持続化支援借換融資」を創設し、事業活動に影響を受けた中小企業の資金調達を支援しました。

また、中小企業のIT導入による経営改善を支援するため、IT導入専門相談やIT導入促進セミナーを実施したほか、見本市出展等経費助成及びホームページ作成経費助成を2年度に引き続き拡大して実施しました。

さらに、区内商業振興や区民消費の下支えを目的にプレミアム率及び総発行部数を拡大

したプレミアム付商品券発行事業費助成を2年度に引き続き行うとともに、3年度はデジタルプレミアム付商品券発行事業費助成も行いました。加えて、子育て世帯への臨時特別給付金や離職者等で一定の要件を満たす方に対する住居確保給付金等を実施しました。

## **(2) 医療提供・検査体制の維持 5,509百万円**

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う新規陽性患者等の積極的疫学調査や健康観察等の保健所業務及び、医療機関での診療業務の増大に対応するため、引き続き新型コロナウイルス感染症に関する受診相談窓口やPCR検査を実施する地域外来・検査センターを開設するとともに、インフルエンザとの同時流行に備え、発熱外来診療時に迅速な鑑別診断につなげるため、2年度に引き続き子ども（16歳未満）のインフルエンザ予防接種費用の助成等を行いました。

また、3年度から本格的に開始された新型コロナウイルスワクチン接種について、個別接種及び集団接種の実施に必要な体制整備等を行い、円滑なワクチン接種を実施することで、1・2回目接種（5歳以上）は約81%、3回目接種（18歳以上）は約46%の区民の方に接種をしました。

さらに、福祉施設が入所前の利用者に対してPCR検査を実施した場合や、施設で陽性者が発生した際に濃厚接触者以外の利用者及び職員に対してPCR検査を実施した場合、2年度に引き続き検査費用の助成を行いました。

## **(3) 感染予防を目的とした実施方法の見直し 118百万円**

新型コロナウイルス感染症の予防策として、対面でのやりとりや密を回避するための見直しを行いました。2年度に集団健診から医療機関での個別健診に変更した乳児（4か月児）健康診査等の健診業務を3年度も引き続き実施したほか、小学校及び中学校の移動教室や体験学習、連合行事等で利用する借上バスによる輸送方法等の見直し、行政サービスの郵送化、区民相談等のオンライン化の拡大や、テレワーク環境の整備等に取り組みました。

## **(4) 区有施設や区民サービス提供における感染予防対策など 271百万円**

小・中学校や子育て施設、地域コミュニティ施設などの区有施設及び、窓口業務等の区民サービス提供において、消毒液やパーテーションの設置などに取り組みました。

# **6 区 配偶者暴力防止事業【計画】（総務費）**

## **人権推進課 3.5百万円**

あらゆる暴力の防止に向けて、社会全体で取り組めるよう、配偶者等からの暴力の防止及び被害者保護に関するパンフレットの作成・配布や講演会等を実施し、区民の意識向上を図りました。

また、男女平等推進センター（配偶者暴力相談支援センター）では、DV被害者の支援を行いました。

### **(1) 女性に対する暴力相談（DV相談）の実施**

- ①実施場所 男女平等推進センター
- ②実施回数 95回（週2日）

### **(2) DV防止・啓発事業**

- ①DV予防啓発カード、クリアファイルの作成・配布
- ②講座・講演会実施 4回

## 7 図第4次葛飾区住宅基本計画の策定【新規】（都市整備費）

住環境整備課 8百万円

住宅・住環境等の動向と課題の検討に基づいて、長期的な視点から、今後めざすべき住宅政策の目標を定めるとともに、都市計画、福祉及び環境などの関連計画と十分な調整を図り、住宅・住環境に関する政策の基本的な方向、総合的に推進すべき施策の体系と展開の指針を明確にしました。

また、葛飾区集合住宅等の建築及び管理に関する条例を公布しました。

さらに、公営住宅の予防保全的管理推進やライフサイクルコスト縮減、また、SDGsの推進のため、新たな長寿命化計画を策定しました。

## 4 葛飾の良さを活かした、魅力と活力あふれるまちづくり

### 1 魅力ある観光まちづくり（重要プロジェクト）

#### 1 ㊦寅さん記念館・山田洋次ミュージアムのリニューアル【計画】（産業経済費）

観光課 62百万円

「寅さん記念館」及び「山田洋次ミュージアム」の新たな来館者やリピーターを獲得するため、両施設のリニューアルを行いました。

3年度は、寅さん記念館プロローグ部分を刷新するとともに、山田洋次ミュージアムへの松竹大船撮影所ジオラマの導入などを行いました。

※6-5-1「葛飾区夢と誇りあるふるさと葛飾基金」の活用に再掲

#### 2 ㊦かつしか観光推進事業【計画】（産業経済費）

観光課 108百万円

##### (1) 『こち亀』を活用した観光振興策

###### ① 『こち亀』バスラッピング広告

京成タウンバスが運行する亀有駅～浅草寿町間の路線バス1台にラッピング広告を継続し、『こち亀』ゆかりの地「葛飾」「亀有」をPRしました。

###### ② 『こち亀』活用イベントの実施

『こち亀』のまち亀有で、こち亀45周年を記念する謎解きイベントを地域の商店街と協働して開催しました。

##### (2) 『キャプテン翼』を活用した観光振興策

###### ① 『キャプテン翼』ゆかりの地「京成立石駅」でのPR

『キャプテン翼』ゆかりの地をデザインした看板を京成立石駅南口に継続して設置し、作品の魅力を活かした観光PRを進めました。

###### ② 『キャプテン翼』バスラッピング広告

京成タウンバスが運行する亀有駅～新小岩駅東北広場間、新小岩駅東北広場～市川駅間の路線バス及び東京都交通局が運行する金町駅～浅草寿町～上野松坂屋前間の路線バス各1台にラッピング広告を継続し、『キャプテン翼』ゆかりの地「葛飾」「四つ木・立石」をPRしました。

###### ③ 京成四ツ木駅構内を活用した『キャプテン翼』展示コーナーの設置

京成電鉄（株）との協働により京成四ツ木駅構内の一部を活用した展示コーナーの設置を行い、観光客の誘客を図りました。

###### ④ 『キャプテン翼』モバイルスタンプラリーなど

『キャプテン翼』モバイルスタンプラリーの継続や、銅像めぐりマップを増刷し観光客の誘客を図りました。

##### (3) 『モンチッチ』を活用した観光振興策

###### ① 『モンチッチ』バスラッピング広告

京成タウンバスが運行する亀有駅～新小岩駅東北広場間、新小岩駅東北広場～市川駅間の路線バス2台にラッピング広告を継続し、『モンチッチ』に会えるまち「葛飾」「新小岩」をPRしました。

## ②地域イベントなど

J R新小岩駅周辺で実施する新小岩駅東北ひろばまつりは中止となりましたが、マンホールカードの配布やモンチッチデザイン照明を継続し、地域の賑わいを創出しました。

- (4) 『リカちゃん』等を活用した観光振興策
  - ① 『リカちゃん』バスラッピング広告  
京成バスが運行する亀有駅～新小岩駅東北広場間の路線バス2台にラッピング広告を継続し、「リカの好きなまちかつしか」をPRしました。
  - ② 『リカちゃん』ARフォトフレームなど  
『リカちゃん』ARフォトフレームを活用した区の認知度向上や、『トミカ』・『リカちゃん』のマンホールカードの配布を開始し、(株)タカラトミーと連携して地域の活性化を図りました。
- (5) 葛飾柴又の文化的景観を活用した観光振興策  
重要文化的景観の重要な構成要素となっている「矢切の渡し」周辺の環境を整備したほか、専門家を交えて葛飾柴又の魅力や川甚の歴史的文化的な価値を再確認し、川甚跡地活用の機運醸成を図るためのトークセッションを開催しました。
- (6) 区内回遊促進事業  
若年層への情報発信力に優れた方を活用し、TikTokにて区内各所(立石・亀有・柴又)のスポットを紹介し、葛飾区の魅力を発信しました。
- (7) フィルムコミッション事業  
映画、ドラマなどのロケーションの誘致や撮影に関する相談・立会いなどを行い、撮影を支援した作品を通じて区の魅力を発信しました。
- (8) 押上駅構内広告物掲出  
乗降客の多い押上駅構内の広告媒体に大判ポスターを掲出し、葛飾区魅力を多くの方にPRしました。
- (9) 浅草等でのバスラッピング広告によるPR  
京成タウンバスが運行する新小岩駅東北広場～浅草寿町間の路線バス1台に葛飾区の観光地等をイメージしたラッピング広告を継続し、浅草や東京スカイツリー®近辺からの誘客を図りました。
- (10) 葛飾産品アンテナショップ事業  
柴又駅前の観光案内所において、観光情報の提供や区内で生産された伝統工芸品等をPRするとともに販売し、観光客へ葛飾区魅力を発信しました。
- (11) おいでよ亀有事業  
亀有地域で、自治町会や商店会等との協働により、イルミネーションの装飾を実施し、まち全体の賑わいの創出や、観光客の誘客及び地域活性化を図りました。
- (12) ライティング・コラボレーションかなまち事業  
金町地域で、自治町会や商店会等との協働により、イルミネーションの装飾及びスタンプラリーを実施し、まち全体の賑わいの創出や、観光客の誘客及び地域活性化を図りました。
- (13) きらめきの街・新小岩事業  
新小岩地域で、自治町会や商店会等との協働により、新小岩駅を中心としたイルミネーションの装飾を実施し、まち全体の賑わいの創出や、観光客の誘客を図りました。
- (14) 国際観光振興機構等への加盟  
国際観光振興機構(日本政府観光局)等への加盟により国内外の観光情報の把握や発信を行いました。
- (15) 葛飾柴又の文化的景観活用観光まちづくり検討支援事業  
観光地柴又の魅力の向上と更なる発展に向け、葛飾区が取得する川甚跡地について、「葛飾柴又の文化的景観」の価値と調和的な有効活用策を検討するため、柴又観光まちづくり検討会の支援を行いました。

### 3 園 観光資源づくり事業【計画】（産業経済費）

観光課 32百万円

- (1) 『モンチッチ』モニュメント設置  
（株）セキグチ 取締役会長 関口 晃市 氏（個人）から寄附を受けて、新小岩駅北口駅前広場に『モンチッチ』モニュメントを設置し、地域の賑わいを創出しました。  
銅像 2基  
モニュメント完成除幕式典 令和4年1月26日
- (2) 堀切地域観光振興支援委託  
堀切地域の商店会等と協働して地域観光ガイドマップ「堀切さんぽ」を作成し、観光客の誘客や地域の回遊を促進しました。
- (3) かつしか観光大使事業  
葛飾区ゆかりのキャラクターである寅チッチを「かつしか観光大使」に任命し、区の魅力を積極的に区内外に発信することにより、区のイメージアップ及び観光振興へと結びつけました。  
※6-5-1「葛飾区夢と誇りあるふるさと葛飾基金」の活用に再掲

## 2 花いっぱいのもちづくり（重要プロジェクト）

### 1 園 緑と花のもちづくり事業【計画】（環境費）

環境課 32百万円

区民の地域での緑化意識を高め、自主的な活動により緑と花を区内に一層広めるような事業を積極的に展開することで、人にやさしく住みやすいまちづくりを推進しました。

また、総合庁舎をはじめとする区有施設に花の植栽を行うとともに、関係機関と連携し花いっぱいの公共空間を創出しました。

さらに、区内事業者等で開発した「フラワーメリーゴーランド」については、設置数を区内外に増やす働きかけを継続して行いました。

- (1) 「かつしか花いっぱいのもちづくり推進協議会」の運営  
活動団体、事業者、緑化推進協力員、区で構成する「かつしか花いっぱいのもちづくり推進協議会」を運営し、区民との協働による花いっぱいのもちづくりを推進しました。また、3年度は、オリンピック・パラリンピックの開催にあわせ、臨海副都心に設置された聖火台周辺を中心に、大会に彩りを添えるために設置されたフラワーメリーゴーランドやフラワーキャンパスなどの維持管理を行いました。
- (2) 花いっぱいホームページの運営  
専用ホームページを引き続き活用し、花いっぱいレポーターとの協働により、活動団体相互の情報交流や活動状況のPRを行いました。
- (3) 地域緑花の推進
  - ①活動団体への支援  
地域の人々の目に触れる公開性のある場所で緑と花を育てる活動を行う団体に花苗、種、球根などの配付や園芸用具の貸与を行い、その活動を支援しました。
  - ②緑花生活の推進  
サロン・ド・花いちなどのイベントで、区民へ花苗の配布を行うとともに、園芸教室の開催により区民の緑化意識の向上を図りました。  
また、「葛飾区緑化推進協力員会」との協働による花と緑のはがきコンクールを開催



するとともに、「かつしか花いっぱいのみちづくり推進協議会」との協働による花いっぱいの花壇写真展を開催しました。

(4) 公共空間への展開

3年度は、国が東京スカイツリータウン®で開催した「Society 5.0 科学博」に、区のフラワーメリーゴーランド4基を出展し、花いっぱいでおもてなし活動をPRしました。

※7-1-1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

## 2 園花を生かした景観整備（都市整備費）

公園課 36百万円

柴又公園の河川敷にチューリップなどの季節感のある花を植えて、堤防上から江戸川を望む花の風景を構築しました。

また、公園などで行っている地域開放型花壇管理についても引き続き支援しました。

※7-1-1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

## 3 産業の活性化

### 1 園葛飾ブランド創出支援事業【計画】（産業経済費）

商工振興課 10百万円

区内製造業が開発した優良製品等5件を「葛飾ブランド」として認定し、それらの製品等の持つエピソードを基にしたマンガ「葛飾町工場物語」を作成・配布するとともに、展示会への出展、専用ホームページによるPRなどを行いました。

また、これまでの認定製品も含めた葛飾ブランド認定製品の展示販売会を、令和3年9月に東京駅隣接のKITTE丸の内、令和3年11月に丸井錦糸町店で開催しました。

### 2 園東京理科大学との産学公連携推進事業【計画】（産業経済費）

商工振興課 8百万円

区内企業と東京理科大学との間で産学公連携体制を構築し、大学の有する先端的な研究機能と葛飾の町工場が得意とする製造・加工技術との連携交流を推進しました。

(1) 共同開発事業への助成

共同開発にかかる経費について2件助成し、新製品・新技術開発事業を支援しました。

(2) 専属コーディネーターの配置

区内事業者と東京理科大学との企業技術のマッチングを行うために専属コーディネーターを配置し、区内企業に対するPRや相談、大学研究室に関する情報収集を行い、新製品・新技術開発などを推進・支援しました。（区・商工会議所・大学の3者で費用を負担）

(3) 産学交流イベントの実施

交流イベントの一環として、東京理科大学で区内事業者が気軽に参加し質問できる少人数参加型講座を3回開催し、延べ36人が受講しました。

- (4) 産学公連携推進協議会の運営  
大学、区内企業・金融機関、区等で構成する協議会で産学公連携事業の方向性等を検討しました。

### 3 区 区内産業人材育成支援事業【計画】（産業経済費）

商工振興課 0.1 百万円

区内企業が技術・技能・知識等の習得を目的として実施する人材育成活動について、その経費の一部について6件助成しました。

### 4 区 産業見本市開催事業（産業経済費）

商工振興課 36 百万円

多種にわたる区内製造業を集め、区内外の発注企業との商談機会の充実を図り、ものづくりのまち「かつしか」の優れた技術を発信する「町工場見本市2022」を東京国際フォーラムにおいて令和4年2月3日、4日の2日間開催し、60社が出展しました。

### 5 区 コロナ禍における中小企業支援【拡大】（産業経済費）

産業経済課・商工振興課 1,390 百万円

新型コロナウイルス感染症の拡大により経営上の影響を受けながらも、新たな生活様式等への対応に取り組む区内中小企業への支援を行いました。

- (1) 見本市出展等経費助成  
中小企業の販路拡大を支援するため見本市への出展費補助上限額を拡大し、出展経費の一部について12件助成しました。
- (2) ホームページ作成経費助成  
製品や営業内容を広くPRし販路拡大を支援するためホームページ作成経費の補助率と補助上限額を拡大し、作成経費の一部について82件助成しました。
- (3) 中小企業向けIT導入専門相談及びIT導入促進セミナーの実施  
中小企業のIT導入を一層支援し経営改善を図るため、ホームページの開設・改善、インターネット通販の活用による販路拡大や、製造ライン等におけるシステム改善、更にはシステムセキュリティ強化に向けた相談等に対応しました。  
3年度は、IT分野に高い知識を有する中小企業診断士による相談に加え、新たにコンサルティング会社によるIT導入アドバイザー業務支援を活用した相談を行ったほか、IT導入を促進するためのセミナーを実施しました。
- (4) 新型コロナウイルス対策緊急融資  
新型コロナウイルス感染症の影響により、事業活動で影響を受けた区内中小企業・小規模事業者の資金調達を支援するため、本人負担なしの区制度融資を実施しました。  
3年度は、令和2年12月に創設した設備資金融資である「新型コロナウイルス対策経営改善設備資金融資」に加え、新たな運転資金融資として「新型コロナウイルス対策持続化支援融資」及び「新型コロナウイルス対策持続化支援借換融資」を創設し、中小企業を支援しました。

※（3）は6－4－1 デジタル技術の効果的な活用推進に再掲

## 6 ㊦ 伝統産業販路拡大支援事業【計画】（産業経済費）

商工振興課 0.1 百万円

区内の伝統工芸士で組織する団体が、自ら製作した伝統工芸品を区外で展示及び販売する催しの開催や、参加するための経費の一部について1件助成しました。これにより、葛飾区の伝統工芸品を広く周知し、多くの消費者にその製品の良さを認識する機会を確保しました。

## 7 ㊦ 創業支援事業【計画】（産業経済費）

産業経済課 34 百万円

区と関係機関・団体が協働し、区内で創業をめざす方に、創業前から創業後の経営安定まで、情報やノウハウの提供、資金融資、人材確保について一貫した支援を行いました。

## 8 ㊦ 事業承継支援事業【計画】（産業経済費）

産業経済課 6 百万円

区と関係機関・団体が協働し、地域産業の優れた技術を引継ぎ、区民の雇用を確保するため、情報やノウハウの提供、資金融資などにより、円滑な事業承継に向けた支援を行いました。

## 9 ㊦ 公衆浴場ガス化等支援事業【計画】（産業経済費）

商工振興課 0 百万円

公衆浴場設備の新規ガス化又は既設ガス燃料設備の支援実績はありませんでした。

## 10 ㊦ 公衆浴場改築費等助成【新規】（産業経済費）

商工振興課 20 百万円

3年度は、公衆浴場の大規模改修費について1件助成し、浴場経営の負担を軽減し、転廃業防止及び区民の利便性、保健衛生の向上を図りました。

## 1 1 圃 農地保全支援事業【計画】（産業経済費）

産業経済課 10百万円

多面的機能を持つ農地を保全するため、都市農地のPRを行うとともに、営農者向けに改正生産緑地制度説明会や農地相続税相談会を実施しました。

防災兼用農業用井戸整備費等助成 11件  
説明会 1回

## 1 2 圃 雇用・就業マッチング支援事業【計画】（産業経済費）

産業経済課 36百万円

区民のキャリアアップと就労を支援するため、専門職員が、区内及び近隣の企業を訪問し、求人情報の収集や人材確保の相談を行うとともに、収集した求人情報を区民に紹介し、就労を支援しました。

また、求職者に対して個別カウンセリングや適職診断を実施し、適切な職業の紹介を行いました。

さらに、葛飾の産業を担う人材確保のため、セミナーや相談会等を開催し、若者・女性・就職氷河期世代・シニア層の就職を支援しました。

求職登録者 532人  
採用決定者 255人

## 1 3 圃 プレミアム付商品券発行事業費助成【拡大】（産業経済費）

商工振興課 311百万円

区内商店街や区内商業の活性化及び区民消費の下支えを図ることを目的に、葛飾区商店街連合会が発行するプレミアム付商品券の発行経費の一部を助成しました。

3年度は、2年度に引き続きプレミアム率と発行総数を増やして実施しました。

(1) 発行総額

1,440,000,000円（12,000円×120,000セット）

(2) プレミアム率

20%

## 4 文化芸術活動・多文化共生社会の推進

### 1 圃 文化芸術創造のまちかつしか推進事業【計画】（総務費）

文化国際課 8百万円

多くの区民に文化芸術活動への参加機会を提供するため、区民ニーズや地域の特性を踏まえた区民参加型の事業として、かつしかオリジナル作品公募事業（かつしか文学賞）や公募型文化芸術事業（地域コンサート）を実施しました。

(1) かつしかオリジナル作品舞台化

3年度は、2年度に脚本化した「第4回かつしか文学賞」大賞作品「立石ロッキー」の舞台発表を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、4年度に延期しました。

(2) 公募型文化芸術事業（地域コンサート）

地域の文化・芸術活動の活性化に貢献する個性的・創造性あふれる音楽イベントを広く公募しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、予定していた12事業のうち、実施は1事業となりました。

(3) 公募型文化芸術事業（アートイベント助成事業）

文化・芸術による地域文化の活性化を目的とし、広く一般区民等に公開される音楽以外のアートイベントを実施する団体に助成する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、申請はありませんでした。

※7-1-1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

## 2 区 多文化共生社会の推進【計画】【拡大】（総務費）

### 文化国際課 5百万円

外国人区民にとっても暮らしやすい地域となるように、生活に役立つ情報の提供や各種文化紹介講座・交流イベント等の開催、民間国際交流団体に対する事業費助成や日本語ボランティア活動に対する支援をしましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、友好都市や姉妹都市をはじめとする外国都市との交流事業及び実施する予定であった語学ボランティア派遣は中止しました。

3年度から、はじめて日本語を勉強する外国人区民向けに日本語教室（入門編）を実施しましたが、やさしい日本語を広く普及させ、外国人区民とのコミュニケーションを促進するため、日本人区民向けに実施する予定であったやさしい日本語講座は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止しました。

※7-1-1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に一部再掲

## 3 区 文化財の保存及び活用（教育費）

### 生涯学習課 36百万円

区内には、区が指定・登録している文化財のほか、葛飾柴又の文化的景観など、国や都が指定・登録・選定した文化財が存在しています。

葛飾柴又の文化的景観は、令和4年3月に「国選定重要文化的景観 葛飾柴又の文化的景観整備計画」を策定し、新たな補助制度や連絡協議会の創設など具体的な取組内容を位置付けました。

また、地域で大切に守り伝えられている文化遺産を後世に残していくことと、地域が主体となり活用していくことを目的とする「地域文化遺産制度」の創設に向け、各地域の文化遺産候補の調査や制度設計の検討を行いました。

さらに、出前講座等において、子どもたちの郷土学習における実物の教材としての文化財活用を促進し、区の歴史や文化を感じ、学べるようにしました。

#### 4 文化会館の大規模改修（総務費）（一部再掲）

文化国際課 2,246百万円

建物竣工から29年が経過し、様々な部位や設備に劣化や交換部品の製造停止等が見られるようになってきている中で、利用者の利便性や安全性の向上、施設の機能維持、省エネ・低コスト設備への転換を図るため、文化会館本館の大規模改修を実施しました。

### 5 活力あるまちづくりの推進

#### 1 無電柱化の推進【計画】（都市整備費）

道路建設課 7百万円

都市防災機能を強化し、安全で快適な歩行空間及び良好な都市景観を創出するため、無電柱化推進計画に位置付けたチャレンジ路線、都市計画道路や駅周辺などの街づくりに伴う路線について、電線管理者と協働するとともに沿道地域住民の理解を得ながら、区道の無電柱化を推進していきます。

3年度は、チャレンジ路線2路線などの詳細設計に着手しました。

#### 2 街づくりの担い手育成・支援【計画】（都市整備費）

都市計画課 19百万円

区民との協働による街づくりを進めるため、街づくりに対する区民、民間事業者の理解を深め、認識を共有し、意識の向上を図ります。

3年度は、震災復興まちづくり模擬訓練のほか、葛飾区都市計画マスタープランの改定作業を行いました。

#### 3 新小岩駅周辺開発事業【計画】（都市整備費）

新小岩街づくり担当課 786百万円

新小岩駅周辺地区の総合的な都市基盤、環境整備を図るために、広場や自転車駐車場の整備、南北自由通路整備など、駅周辺の一体的なまちづくりを推進します。

3年度は、引き続き、東南地区において民間事業者との協定に基づく自転車駐車場の整備を行いました。

また、南口地区において、再開発準備組合の支援を行い、都市計画決定に至りました。決定後についても組合設立に向けた活動を支援しました。

さらに、地域まちづくり組織に対してコンサルタントの派遣やニュースの発行、相談・助言などの支援を行うとともに、駅周辺の街づくりに関する地権者への意向調査や個別訪問の実施、エリアマネジメントの実現に向けた関係者へのヒアリングの実施など、地域住民と協働で、駅周辺の一体的なまちづくりを推進しました。

#### 4 画 金町駅周辺の街づくり【計画】（都市整備費）

金町街づくり担当課 865百万円

駅前拠点の開発により街づくりが進む「金町駅南口」と、新宿六丁目地区における東京理科大学の開設や民間開発等に併せた都市基盤整備などの実現をめざす「金町駅北口周辺」において、金町駅を中心に南口と北口を一体とした、広域複合拠点としての都市機能の充実にめざします。

3年度は、金町駅周辺のエリアマネジメントの実現に向けた検討を進めました。

また、金町駅南口では、金町六丁目駅前地区市街地再開発事業が3年7月に竣工を迎えました。

金町駅北口では、駅前広場や生活幹線道路の拡幅整備などによる交通結節機能の向上と新たな賑わいの創出などの実現をめざし、地元住民やまちづくり協議会と協働して街づくりを推進するとともに、東金町一丁目西地区市街地再開発事業が4年度の権利変換計画認可をめざしており、支援を行いました。

#### 5 画 金町駅周辺の街づくりと連動した複合サービスの提供【計画】【拡大】

（総務費）

政策企画課 1,588百万円

駅前拠点の開発により街づくりが進む「金町駅南口・北口」において、交通利便性や居住性が非常に高いという特性を活かした公共サービスの提供を進めています。

金町六丁目駅前地区の市街地再開発事業における保留床を活用し、様々な世代の人たちが広く活用できる、複合施設「金町駅前活動センター（カナマチぷらっと）」を3年11月に開設しました。

#### 6 画 立石駅周辺地区再開発事業【計画】（都市整備費）

立石駅北街づくり担当課・立石駅南街づくり担当課 476百万円

立石駅周辺地区では、地元権利者が主体となって、現在の立石のまちの魅力を継承・発展させながら、更なる賑わいの創出と防災性の向上を図ることを目的に再開発事業による街づくりを進めています。現地に設けた「立石駅周辺地区街づくり事務所」では、職員が権利者等の相談に応じるなど、組合施行の再開発事業による街づくりの実現に向けて、支援を行いました。

(1) 立石駅周辺地区賑わい創出推進業務

再開発事業後における立石駅周辺の賑わい創出に向けた検討を行いました。

(2) 立石駅北口地区市街地再開発事業

権利変換計画作成業務や施設建築物の実施設設計等の経費補助を行うなど、再開発組合活動の支援を行いました。

(3) 立石駅南口東地区市街地再開発事業

再開発組合の設立に向けた準備組合活動の支援を行いました。

(4) 立石駅南口西地区市街地再開発事業

準備組合活動の支援及び都市計画決定に向けた手続き等の調整を行いました。

検討区域全体面積 4.5ha（北口地区2.2ha・南口地区2.3ha）

## 7 圃 高砂駅周辺の街づくり【計画】（都市整備費）

高砂・鉄道立体担当課 46百万円

高砂駅周辺の交通利便性や安全性・防災性を向上させ、魅力と活力ある広域生活拠点的形成するため、地元住民による街づくり勉強会への支援などを行い、鉄道立体化と一体となった街づくりを推進していきます。

また、駅前広場やアクセス道路の検討や都市計画手続きなどを進めるとともに、鉄道立体化に伴う車庫移転等による大規模な土地利用転換の協議・検討を行い、高砂駅周辺の拠点性の向上をめざします。

3年度は、駅前地区の再開発事業化検討や連続立体交差事業化の推進に必要な都市計画の検討、地元まちづくり活動支援などを行いました。

## 8 圃 四ツ木駅周辺の街づくり【計画】（都市整備費）

街づくり推進担当課 10百万円

四ツ木駅周辺において地域住民に身近な拠点を形成し、交通利便性や安全性・防災性を向上させるため、鉄道立体化や区画街路第4号線、区画街路第6号線（駅前広場を含む。）の整備に併せて、地域とともに必要な街づくりを検討していきます。

3年度は、駅前広場の設計などを行いました。

## 9 圃 青戸六・七丁目地区の街づくり【計画】（都市整備費）

街づくり推進担当課 1.0百万円

地区計画制度等を活用し、地区の特性を活かした街づくりを進めるとともに、安全・快適で利便性の高い街づくりを推進するため、道路や公園の整備とともに、地区内の交通や駅からのアクセスの円滑化など暮らしを支える基盤整備を進めます。

3年度は、道路及び公園の用地を取得するため、土地所有者との話し合いを行いました。

## 10 圃 都市計画道路の整備【計画】（都市整備費）

道路建設課 2,649百万円

安全で円滑な交通機能を確保するとともに、良好な道路環境を整備するため、沿道地域住民や権利者の理解を得ながら、都市計画道路の整備を着実に推進していきます。

令和3年度事業化路線

補助138号線（南水元西）

補助279号線（高砂）

事業中路線（計画事業）

補助261号線（南水元）



補助 2 6 4 号線（細田西・環七付近）  
補助 2 7 4 号線（立石）  
補助 2 7 6 号線（一口橋南・細田北・隅田橋）  
補助 2 7 9 号線（隅田橋）  
補助 2 8 4 号線（東新小岩南・東新小岩北）  
区画街路 4 号線（四つ木東・四つ木西・四つ木）

## 1 1 区 新中川橋梁架替事業【計画】（都市整備費）

道路補修課 5 0 2 百万円

完成から 5 0 年以上が経過した、八剣橋・細田橋・高砂諏訪橋の架替事業を実施し、歩行者・自転車の通行の安全性や防災性の向上などを図ります。  
3 年度は、八剣橋の整備などを行いました。

## 1 2 区 京成押上線連続立体交差事業【計画】（都市整備費）

立石駅北街づくり担当課 1, 1 3 1 百万円

京成押上線（四ツ木駅～青砥駅間）連続立体交差事業は、鉄道を高架化し、1 1 か所の踏切をなくすことにより、交通渋滞の解消、道路交通の安全確保、南北の回遊性向上を図ります。  
3 年度は、東京都及び京成電鉄（株）と連携して高架化工事及び付替道路工事を進めました。

## 1 3 区 自転車活用の推進【計画】（都市整備費）

交通安全対策担当課 2 7 百万円

自転車の活用による環境負荷の低減、区民の健康増進を図ることなどの新たな課題に対応するため、交通の安全の確保を図りつつ、自転車の利用を増進しました。  
また、自転車の安全利用の推進などの各種施策を複合的に展開しました。  
3 年度は、自転車活用推進計画を策定するとともに、T S マーク（自転車保険付）の取得費用の助成などを行いました。

## 1 4 区 交差点部等の歩行者安全対策（都市整備費）

道路補修課 3 5 百万円

令和元年 5 月に滋賀県大津市で発生した交差点での事故を受けて実施した主要交差点の緊急点検結果を基に、交差点部の交通安全施設整備工事を行うほか、バリアフリーの観点等も踏まえた交差点のリニューアル工事を行いました。

## 15 柴又駅前広場改修事業【新規】（都市整備費）

道路補修課 56百万円

柴又駅前の交流機能の確保、更なる賑わいの創出、葛飾柴又の文化的景観の保存及び観光振興を図るため、京成電鉄(株)が実施する駅前の商業棟建設工事に併せて、広場舗装などの改修を行いました。

工事完了時期 令和3年6月

## 6 公共交通の充実（重要プロジェクト）

### 1 圃公共交通網の充実【計画】（都市整備費）

交通政策課 2,082百万円

めざすべき葛飾区の公共交通網のあり方やその実現に向けた施策を取りまとめた「葛飾区公共交通網整備方針」に基づき、新金貨物線旅客化の検討やバス交通の充実などに取り組みました。

#### (1) 新金貨物線旅客化検討

国道6号の交差方式の検討のほか、事業主体や国道6号以南の区間を段階整備する方法など、多角的に検討を進め、旅客化の早期実現に向けて取り組みました。また、旅客化の整備に要する資金に充てる基金の積立てを行いました。

#### (2) 循環バス路線検討

##### ① 細田循環バス

令和3年2月より運行している細田循環バスについて、乗降調査や利用者アンケートにより利用実態を把握し、利用促進に向けた取組を行いました。

##### ② 有70・有71・有74系統の再編検討

有71系統の運休により公共交通の利便性が低下した亀有駅～金町駅の地域において、地域ヒアリングとアンケートを実施し、既存バス路線の再編検討を進めました。

##### ③ 地域主体交通システムの検討

東立石地区をモデル地区として、地域組織が自ら車両を運行する取組を支援するため、令和3年11月にグリーンスローモビリティのデモ走行会を実施しました。

##### ④ 企業送迎車両活用モデル事業

平和橋自動車教習所との協働により、教習所送迎車両の空き座席を活用して地域住民の外出支援・促進を図るモデル事業を令和3年11月に開始しました。

#### (3) バス利用環境向上整備

バス交通の利便性向上及び利用促進を図るため、バス停留所付近にバス利用者用駐輪場（サイクル&バスライド）を1か所設置しました。

- ・水元総合スポーツセンターバス利用者用駐輪場

#### (4) 循環バス路線運行経費助成

細田循環バスの運行にかかる経費の助成を行いました。

#### (5) バス利便施設整備費助成

バス待ちの負担軽減につながるバス停留所ベンチやバスロケーションシステム表示機の設置を行ったバス事業者に対し、経費の一部を助成しました。

- ・バス停留所ベンチ 2基
- ・バスロケーションシステム表示機 8基

## 2 **■** 地下鉄 8・11 号線及び環七高速鉄道（メトロセブン）建設促進事業【計画】

**（都市整備費）**

**交通政策課 1.5 百万円**

地下鉄 8 号線・11 号線の延伸、メトロセブンの建設促進に向けて、関係区市及び都区連絡会と連携し、協議会や調査研究を実施しました。

## 5 区民とともに築く、人にやさしく住みよいまちづくり

### 1 水と緑にふれあう快適空間の創出

#### 1 園地域の核となる公園の整備【計画】（都市整備費）

公園課 666百万円

- (1) 西新小岩五丁目公園（西新小岩五丁目2番、7番）  
モンチッチゾーン及びちびっこ広場を拡張整備し、令和4年4月2日にリニューアルオープンしました。
  - (2) 鎌倉公園（鎌倉三丁目16番、21番、22番）  
鎌倉公園の南側エリアの工事が完成し、令和4年3月5日にリニューアルオープンしました。また、引き続き、北側・高架下エリアの工事に着手し、令和4年度中のリニューアルオープンをめざします。
  - (3) 小菅東スポーツ公園（小菅三丁目1番）  
令和2年度に引き続き、改修工事を進め、令和4年7月23日にリニューアルオープンしました。
  - (4) 新小岩公園（西新小岩一丁目1番）  
再整備に向けて、基礎調査及び概略設計を行いました。
  - (5) 柴又公園（柴又七丁目10番、19番）  
公園拡張に伴う都市計画変更に向けた、図書の作成を行い、引き続き、令和4年度内の変更決定をめざします。
- ※（1）は6-5-1「葛飾区夢と誇りあるふるさと葛飾基金」の活用に再掲

#### 2 園水辺のネットワーク事業【計画】（都市整備費）

公園課 19百万円

親しみの持てる水辺空間を創出するため、水辺のネットワークを整備します。  
3年度は、中川親水テラスの照明設置工事を行いました。

#### 3 園西井堀せせらぎパークの改修（都市整備費）

公園課 0百万円

西井堀せせらぎパークの施設の老朽化や利用状況を踏まえ、改修計画を策定し、整備を行っていきます。

3年度は、改修のための基本計画を策定する予定でしたが、周辺道路の将来計画と一体的に検討することとし、基本計画の策定を見送りました。

## 4 圃 河川環境改善事業（都市整備費）

公園課 47百万円

水元小合溜で実施している河川環境改善について、ヒシ類等の大量繁茂の抑制や維持管理コストの削減などを目的として、浄化施設の改善を進めます。

3年度は電気設備更新の基本・実施設計及び取水部等整備の修正設計を行いました。

## 2 ユニバーサルデザインの推進

### 1 圃 歩道勾配改善事業【計画】（都市整備費）

道路補修課 81百万円

区内20kmで設定した道路について、歩道の段差や勾配等を改善し、高齢者や障害者、車いす利用者等、誰もが安全で快適に通行できる道路環境の向上をめざします。

3年度は、西亀有一丁目で整備工事などを実施しました。

整備延長 約180m

### 2 圃 人権・多様性への理解促進（総務費）

人権推進課 3.3百万円

区民や企業に対して、人権や多様性に関する身近なテーマを取り上げた啓発紙を作成・配布し、人権課題に対する知識の普及と理解促進を図りました。引き続き、情報発信することで、人権課題への関心を高め、差別や偏見のない人権尊重理念が浸透した社会の実現をめざします。

## 3 エネルギー利用の効率化（重要プロジェクト）

### 1 圃 クリーンなエネルギーの普及促進【計画】（環境費・総務費）

環境課・地域振興課 91百万円

区民・事業者に対し、太陽光発電システム等の導入費助成を行うとともに、学校や区施設への導入も率先して行うことで、クリーンなエネルギーの普及を促進していきます。また、蓄電池と組み合わせた導入を促進することで、災害にも強い、自立・分散型エネルギーシステムの導入を進めていきました。

(1) かつしかエコ助成による支援

①太陽光発電システム等設置費助成

ア) 住宅用

太陽光発電システム（蓄電池併設の場合は5万円上乗せ） 180件

ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS） 125件

イ) 事業所用

太陽光発電システム（蓄電池併設の場合は5万円上乗せ） 4件

②ゼロエネルギーハウス（ZEH）支援事業助成

- 住宅用 3件
- (2) 太陽光発電システムの区施設への設置  
にこわ新小岩 10.5kW
- (3) 廃食用油再生利用促進事業  
家庭で使用済みの食用油を、大気中のCO<sub>2</sub>を増加させないバイオディーゼル燃料として再生利用するため、廃食用油の回収を行い、地球温暖化防止とともに資源循環の地域づくりを推進しました。  
また、引き続きバイオディーゼル燃料仕様に改良した公用車を活用し、普及啓発を図りました。  
回収場所 公共施設 21か所  
回収回数 月2回
- (4) 環境学習講座の実施  
太陽光発電パネルと蓄電池、LED電球がセットとなった環境学習用教材を用いて、小学生を対象とした環境学習を実施しました。

## 2 区民の省エネ行動の推進【計画】（環境費）

環境課 139百万円

省エネルギー設備等の導入費助成を実施するとともに、区民による環境に配慮した行動を推進するため、家庭での取組を認定するエコチャレンジ制度や各種講習会を実施しました。

また、区民の自転車や公共交通機関の利用促進を図るとともに、低公害車の普及促進を図るため電気自動車等の購入費を助成しました。

- (1) エコライフ推進事業
- ①エコチャレンジ（家庭部門）認定制度  
省エネ・省資源等に取り組むことを宣言した区民の中で、取組と成果を報告した家庭を認定することで、日常の省エネ行動や省エネ機器・設備の導入など環境に配慮したライフスタイルへの転換を推奨・支援しました。
- ②エコマスター（家庭部門）認定制度  
エコチャレンジの参加者の中で、優れた成果があった家庭についてはエコマスターとして認定しました。
- (2) 省エネ・環境学習教室の開催  
実施回数 7回
- (3) かつしかエコ助成による支援
- |                     |      |
|---------------------|------|
| ①家庭用燃料電池設置費助成       | 66件  |
| ②LED照明機器改修費助成       |      |
| ア) 個人住宅用            | 35件  |
| イ) 集合住宅用（集合住宅の共用部分） | 33件  |
| ③遮熱塗装等断熱改修費助成       |      |
| ア) 個人住宅用            | 491件 |
| イ) 集合住宅用            | 20件  |
| ④蓄電池設置費助成           |      |
| ア) 個人住宅用            | 215件 |
| イ) 集合住宅用            | 0件   |
| ⑤電気自動車等購入費助成        | 10件  |

### 3 区事業者の環境経営推進【計画】（環境費）

環境課 33百万円

省エネルギー設備等の導入費助成を実施するとともに、事業者による環境に配慮した企業活動を推進するため、環境経営関連の各種認証・認定取得の支援などを行いました。

- (1) 環境経営認証取得費助成
  - ①エコアクション21認証取得・更新費助成 5件
  - ②グリーン経営認証取得・更新費助成 6件
- (2) 環境経営セミナー  
環境経営に関する講座を実施しました。
- (3) かつしかエコ助成による支援
  - ①LED照明機器改修費助成 48件
  - ②遮熱塗装等断熱改修費助成 15件
  - ③高効率空調設備等改修費助成  
空調設備 39件、省エネ型小規模燃焼機器 3件
  - ④蓄電池設置費助成 3件
  - ⑤電気自動車等購入費助成 4件

### 4 区環境行動推進【計画】（環境費・総務費・福祉費ほか）

環境課ほか 398百万円

区内最大規模の事業者として、省エネ・節電対策等に率先して取り組むなど、環境に配慮した行動を推進しました。

3年度は引き続き「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」上の削減目標を達成するために、施設整備・改修計画を効率的に実施するとともに、「葛飾区環境配慮指針」を適切に運用しながらエネルギー使用量の更なる低減を図りました。

主な事業内容

- 空調機の高効率化（水元学び交流館、にこわ新小岩 ほか）
- 蛍光灯の高効率化（水元学び交流館、にこわ新小岩 ほか）
- 太陽光発電システムの設置（にこわ新小岩）

※空調機の高効率化及び蛍光灯の高効率化経費は1-2-2「子育て支援施設の整備方針」に基づく施設整備、1-4-9学校施設の改築に一部別途計上

※太陽光発電システムの設置経費は5-3-1クリーンなエネルギーの普及促進に別途計上

### 5 区気候変動適応策の推進（環境費）

環境課 2.4百万円

温室効果ガスの排出を削減する取組（緩和策）に加えて、気温上昇に適応する取組（適応策）を同時に推進し、地球温暖化対策をより一層進めました。

3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で緑のカーテン講習会は中止しましたが、引き続き区が率先して、小・中学校や区施設に緑のカーテンを設置したことで、気候変動適応策の普及を図りました。

## 4 環境施策の推進

### 1 圃 生物多様性の保全【計画】（環境費）

環境課 18百万円

将来にわたって生物多様性（様々な生きものが、多様な環境の中で互いにかかわりあって生きている状態）が守られるように、葛飾区における生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本的な方針と戦略を定めた「生物多様性かつしか戦略」に基づき、環境学習や自然環境調査等を通じて生物多様性の保全の重要性の普及・啓発を進めました。

#### （1）水辺のふれあいルームの運営

水元小合溜の歴史やその周辺の自然環境の情報提供を行うとともに、環境講座や展示などを通じて環境保全の啓発を行いました。

#### （2）自然環境レポーター事業

区民ボランティアとして区が委嘱した自然環境レポーターが、区内に生息する身近な生きものの状況や暮らしの中の生活環境などを調査し、結果を区が公表することで、生物多様性の保全への意識啓発を図るとともに、率先して環境問題に取り組む人材を育てました。

#### （3）自然環境保全団体への支援

区内を中心に1年以上活動している団体に対し、環境保全に関する調査・研究活動、成果発表及び区民を対象とした啓発事業に係る経費の一部を助成しました。

助成団体 2団体

#### （4）自然環境調査の実施

自然環境レポーターによるモニタリング調査に加え、専門業者による区内の池・水路などの水辺やその周辺の自然環境調査を実施することにより、戦略で定めた施策の効果を評価する際の資料としました。

#### （5）葛飾区生物多様性推進協議会の運営

区民・地域団体・事業者・区の協働と参画により、生物多様性の保全活動を推進していくため、「葛飾区生物多様性推進協議会」の活動を通じ、地域における自然環境活動の取組を広げるとともに、自主的に先導できる担い手の育成を図りました。

#### （6）自然環境学習の推進

##### ①自然環境学習講座

河川の水質調査体験や校庭などで生きものを観察するなどの「自然環境学習出前講座」、区内の生きものなどの観察を行う「自然観察会」を実施しました。

ア) 自然環境学習出前講座 保育園 1園、小学校 6校

イ) 自然観察会 「カンタン」と秋に鳴く虫を聴く会 2回

親子自然観察会 1回

##### ②かつしかっ子探検隊

子どもたちが、体験活動を通して直接自然にふれることで、地域のよりよい環境を創造する意識を育みました。

体験活動 5回

##### ③小さな水田の普及啓発

生きものが生育・生息しやすい環境を広げるため、プランターなどで行える「小さな水田」を普及啓発するためのパンフレット及び種もみを配布しました。



## 2 罫 外来種対策（環境費）

環境課 1.0百万円

生態系及び人の生命・身体に被害を及ぼす外来種への注意喚起や啓発を行うとともに、東京都や関係機関と連携して捕獲・駆除に取り組みました。

3年度は引き続きアライグマ・ハクビシンの防除を行うため、都の有害鳥獣捕獲許可を取得している専門業者に委託し、捕獲用の箱ワナの設置・捕獲・処分を行いました。

## 3 罫 かつしかルール推進事業【計画】（環境費）

リサイクル清掃課 0.6百万円

区民・事業者・区の三者で構成する「かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会」を牽引役として、三者が協働してごみの減量や3Rを推進するための体制を作り、主体的に取り組むことで持続可能な資源循環型地域社会の形成を促進しました。

具体的な取組として、「かつしかルール（毎年協議会で設定する、ごみ減量やリサイクルのための重点的な取組）」の「生ごみの減量」と「雑紙を徹底して分別し、資源にする」を発信し、区民や事業者のそれぞれの役割を認識した主体的な活動を促進しました。また、食品ロス削減に向けた行動の促進を図りました。

### （1）生ごみの減量及び食品ロスの削減

#### ①食べきり・使いきりメニュー事業

家庭から排出される食べ残しや調理時に捨てられてしまう野菜の切れ端などによる生ごみを減量するため、食べ物の食べきり、食材の使いきりメニューを区民に周知するほか、「食べきり・使いきりメニューコンテスト」を実施するとともに、食べきり・使いきりメニューの調理動画を区公式Y o u t u b eに掲載しました。

#### ②フードドライブ事業

家庭における食品ロス削減のため、3年4月1日にリサイクル清掃課窓口にフードドライブの常設窓口を、4年3月4日にコープ葛飾白鳥店に常設型ボックスを設置しました。

### （2）雑紙分別の普及啓発

雑紙の資源化を更に推進するために、イベント等での雑紙回収袋の配布や、家庭から出る雑紙量を量り、どれだけ雑紙が出ているのか経験を通じてごみ減量に取り組む雑紙回収チャレンジを実施しました。

## 4 罫 資源循環による環境負荷の低減促進【拡大】（環境費）

リサイクル清掃課・清掃事務所 134百万円

区民や事業者とともにプラスチック等の資源循環を推進し、ごみに含まれている資源を資源化することで、環境への負荷低減に取り組みました。

### （1）燃やさないごみの資源化

集積所に出された燃やさないごみは、3年5月まで収集後にコンテナ中継所で危険物等を引き抜き、埋め立て処分をしていました。3年6月から燃やさないごみの資源化を開始し、埋立処分場の延命化及び資源循環による環境負荷の低減を図ることと併せ、清掃施設の再編による効率化も行い、持続可能な資源循環型地域社会を形成するための取組を推進しました。

(2) レジ袋の削減

レジ袋の削減のため、マイバック利用スタンプカード事業を引き続き実施しました。

## 5 圃集積所美化等排出指導【計画】（環境費）

清掃事務所 50百万円

区内全域の集積所周辺の改善指導を引き続き実施することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、更なるごみのない、きれいなまちになるよう取り組みました。

※7-1-1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

## 6 清掃施設再編（環境費）

清掃事務所 49百万円

清掃施設再編に向けて、土壌汚染状況調査及び実施設計を行いました。

スケジュール

令和3年度	土壌汚染状況調査、実施設計
令和4年度	解体工事、建築工事（土壌汚染対策を含む）
令和5年度	建築工事、施設集約
令和6年度	新清掃事務所供用開始

## 7 圃ポイ捨て防止等環境美化活動【拡大】（総務費）

地域振興課 52百万円

駅周辺の喫煙禁止区域において喫煙所の維持管理を行うとともに、喫煙マナーの更なる向上を図るため、バス車内放送による啓発に取り組んだほか、商店会加盟店に対し、たばこの煙が付近の通行者に及ばない環境づくりに向けた協力を呼びかけました。

また、これまで行ってきたパトロール活動を見直し、駅周辺の吸い殻等の清掃活動を中心とする内容に変更することで、ポイ捨てや路上喫煙の更なる抑止を図り、きれいなまちを推進しました。

※7-1-1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に一部再掲

## 6 効果的・効率的な区民サービス提供への取組

### 1 協働を推し進める環境づくり（重要プロジェクト）

#### 1 園 協働を推し進める環境づくり（総務費）

協働推進担当課 4. 8百万円

職員出前講座や協働事例集、協働事例の紹介動画作成など区政や協働の取組を広く共有するための情報発信、協働まちづくり表彰や葛飾下町川柳コンクールなど郷土愛や連帯感を高める取組を行いました。

また、区民や事業者、各種団体などが自らの活動を広げるきっかけづくりや交流の機会を創出するため、SNSを活用して情報を共有する環境づくりを行いました。

### 2 総合庁舎の整備（重要プロジェクト）

#### 1 園 総合庁舎の整備（総務費）

総合庁舎推進担当課・総合庁舎技術担当課 0. 1百万円

現在の総合庁舎は、老朽化や狭あい化、防災性能の不足など多くの課題を抱えています。この諸課題の解決を図り、新たなサービス拠点や災害対策拠点として生まれ変わるため、立石駅北口地区第一種市街地再開発事業の建築物（東棟）への移転に向けた検討を進めています。

3年度は、再開発事業の進捗を踏まえながら、国や都の機関を含めた駅前で実施する行政サービス機能のあり方に加えて、今後の検討課題としてきた「現在の総合庁舎敷地及び新館の活用」についての検討を進め、その結果を取りまとめた「葛飾区総合庁舎整備と現庁舎・庁舎敷地の活用方針」を策定しました。

### 3 公共施設の効果的・効率的な活用（重要プロジェクト）

#### 1 園 計画的・予防的修繕の推進（総務費・福祉費・産業経済費・教育費）

施設管理課ほか 1, 699百万円

公共施設の更新費用にかかる財政負担の平準化を図るため計画的・予防的な修繕により、既存施設を維持・保全し長寿命化を進めています。

施設の日常点検や各種調査結果を活かしながら、葛飾区有建築物保全工事計画策定方針や保全工事計画に基づき、効果的・効率的な設計や工事に取り組みました。

(1) 小学校（旧学校を含む）7校

渋江小学校、青戸小学校、松上小学校、原田小学校、東柴又小学校、花の木小学校、旧小谷野小学校

(2) 中学校3校

金町中学校、双葉中学校、立石中学校

(3) 学校以外 8 施設

男女平等推進センター、堀切地区センター、青戸地区センター、奥戸地区センター、高砂地区センター、文化会館、東四つ木工場ビル、福祉事務所東庁舎

※ 4-4-4 文化会館の大規模改修に一部再掲

## 2 にこわ新小岩の建設（総務費・福祉費・衛生費）

地域振興課・障害者施設課・地域保健課・子育て施設整備担当課・施設管理課

1, 994 百万円

新小岩学び交流館や児童会館、上平井保育園などの敷地を一体的に活用し、地域活動センター、子ども発達センター、保健センター及び子ども未来プラザなどの機能を持った複合施設を整備します。地域における活動推進、健康及び子育ての賑わいの拠点として、各事業が連携し、相乗効果を上げることにより、区民サービスの向上を図るとともに、地域活動の活性化につなげます。

3 年度は、本体工事が完了しました。

(1) スケジュール

令和 3 年度 本体工事完了（令和 4 年 3 月）

令和 4 年度 開設（令和 4 年 7 月）

新小岩学び交流館・上平井保育園解体工事  
（令和 4 年 10 月～令和 5 年 5 月（予定））

令和 5 年度 外構工事（春～秋（予定））

(2) 各施設一覧

①新小岩地域活動センター	3, 406 m <sup>2</sup>
②子ども発達センター新小岩分室	250 m <sup>2</sup>
③新小岩保健センター	355 m <sup>2</sup>
④子ども未来プラザ西新小岩・上平井保育園	1, 116 m <sup>2</sup>

## 4 デジタル技術の効果的な活用推進

### 1 圏デジタル技術の効果的な活用推進【新規】

（総務費・福祉費・教育費ほか）（一部再掲）

デジタル推進担当課・情報システム課ほか 588 百万円

社会全体のデジタル化が急速に進む中、申請手続や相談業務などのオンライン化に向けた取組を推進するとともに、電子図書館の導入や子ども 1 人 1 台のタブレット端末を放課後等にも活用するためのオンライン学習環境として、学童保育クラブ、図書館などへの W i - F i 環境の整備に取り組みました。

また、R P A（ロボットによる業務自動化）、A I（人工知能）等の効果的な活用や、新たな技術の導入に向けた検討を進めたほか、行政の様々な分野においてデジタル改革を推進するために新たな計画を策定するなど、デジタル化による区民サービスの更なる向上と業務の一層の効率化を図りました。

**(総務費) 153百万円**

- ・デジタル改革推進事業
- ・オンライン手続等の推進
- ・公衆無線LANサービスの整備・運用
- ・葛飾区総合アプリ運用
- ・RPA・AI等運用
- ・ペーパーレス会議運営
- ・テレワーク環境等の整備・運用

**(福祉費・教育費) 58百万円**

- ・放課後等におけるオンライン学習環境の整備及び支援の充実(1-4-10)

**(産業経済費) 0.5百万円**

- ・中小企業向けIT導入専門相談及びIT導入促進セミナーの実施(4-3-5)

**(教育費) 377百万円**

- ・教育情報化推進事業(1-4-2)  
(ICT支援員の支援回数の拡大)  
(保護者連絡用アプリケーションの導入)  
(学習支援アプリケーション等の活用)
- ・電子図書館の導入(2-10-1)

## **5 「葛飾区夢と誇りあるふるさと葛飾基金」の活用**

### **1 Ⅰ 「葛飾区夢と誇りあるふるさと葛飾基金」の活用**

**(福祉費・衛生費・産業経済費・都市整備費)(一部再掲)**

**観光課・障害福祉課・地域保健課・公園課 191百万円**

平成22年度に「葛飾区夢と誇りあるふるさと葛飾基金」を創設し、これまでにたくさんの寄附が寄せられています。寄附された方々の「ふるさと葛飾」への思いを実現するため、当該基金を活用した事業を実施しました。

(1) 福祉業務用車両の購入費助成

障害者通所施設で福祉業務に使用する車両の購入に係る経費の一部を補助し、利用者の送迎や自主生産品の販売などの活動を支援しました。

補助対象 区内で障害者通所施設を運営する社会福祉法人等

補助率 3/4

補助件数 6件

(2) 公園等設置用自動体外式除細動器(AED)の購入

区民や施設職員が必要時に自動体外式除細動器(AED)を速やかに使用できるよう、平成19年度以降、半径約300m範囲内1台以上を基準に設置を進め、3年度に9台設置することにより、未充足地域を解消しました。

設置場所 白鳥南公園(白鳥二丁目20番9号)

高砂やちよ公園(高砂七丁目3番25号)

奥戸しらさぎ公園（奥戸三丁目20番6号）  
鎌倉公園（鎌倉三丁目22番1号）  
いりや公園（水元四丁目4番1号）  
西水元猿西公園（西水元三丁目18番20号）  
高砂一丁目児童遊園（高砂一丁目20番13号）  
四つ木三丁目児童遊園（四つ木三丁目6番10号）  
しぶえ南児童遊園（東四つ木三丁目34番15号）

(3) 観光資源づくり事業（『モンチッチ』モニュメントの設置）（4-1-3）

新小岩駅北口駅前広場に『モンチッチ』モニュメントを設置し、地域の賑わいを創出しました。

銅像 2基

モニュメント完成除幕式典 令和4年1月26日

(4) 寅さん記念館・山田洋次ミュージアムのリニューアル（4-1-1）

「寅さん記念館」及び「山田洋次ミュージアム」の新たな来館者やリピーターを獲得するため、寅さん記念館プロローグ部分を刷新するとともに、山田洋次ミュージアムへの松竹大船撮影所ジオラマの導入などを行いました。

(5) 地域の核となる公園の整備（西新小岩五丁目公園）（5-1-1）

西新小岩五丁目公園の拡張部について、「モンチッチ」のモニュメントを設置するなど、多くの人を訪れたくなる魅力ある公園となるよう整備しました。

令和4年4月2日開設

## 7 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組

### 1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組

#### (重要プロジェクト)

#### 1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組

(総務費・環境費・教育費ほか) (一部再掲)

政策企画課・指導室・生涯スポーツ課ほか 619百万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業を中止としましたが、事前キャンプの誘致など東京2020大会を実感できる機会を創出するとともに、多くの区民がスポーツに親しむ機会や環境の充実などを図りました。

**(総務費) 50百万円**

- ・文化芸術創造のまちかつしか推進事業(4-4-1)
- ・多文化共生社会の推進(4-4-2)
- ・ポイ捨て防止等環境美化活動(5-4-7) 未執行
- ・キャンプ誘致活動・気運醸成事業
- ・聖火リレー関連事業(出発式・記念銘板設置等)
- ・文化芸術創造事業

**(環境費) 82百万円**

- ・緑と花のまちづくり事業(4-2-1)
- ・集積所美化等排出指導(5-4-5)

**(衛生費) 8百万円**

- ・受動喫煙対策の推進(2-1-5)

**(都市整備費) 36百万円**

- ・花を生かした景観整備(4-2-2)

**(教育費) 443百万円**

- ・かつしかグローバル人材育成事業(英語によるコミュニケーション能力育成)(1-4-3)
- ・体力向上のための取組み(1-4-8)
- ・高齢者の健康づくりの推進(2-8-1)
- ・障害者スポーツの推進(2-8-2)
- ・区民健康スポーツ参加促進事業(2-8-3)
- ・スポーツ施設の利用しやすい環境整備(2-8-4)
- ・かつしか区民大学事業の推進(2-9-1)
- ・郷土と天文の博物館展示事業の充実(2-9-3)
- ・区立中学校のオリンピック観戦 中止

- ・アスリート等指導員との交流
- ・コミュニティライブサイト
- ・トランポリン交流大会
- ・区民体育大会
- ・葛飾区ゆかりのアスリート応援
- ・地区ロードレース大会
- ・レッツチャレンジスポーツ～東京2020大会まであと1か月～
- ・選手応援事業「折り鶴プロジェクト」



裏

白